

デジサインSTB4L

デジサインSTB4L 操作マニュアル

2024/1/10

サイバーステーション株式会社

目次

■ 基本操作編		
・起動と終了	・・・	3 P
・利用モードについて	・・・	4 P
・利用モード別機能一覧	・・・	7 P
・メニュー画面	・・・	8 P
・キーボード操作	・・・	10 P
・入力時の操作	・・・	11 P
■ 再生		
・スケジュール再生	・・・	13 P
・番組データコピー	・・・	14 P
・内部フォルダ内の コンテンツ一括再生	・・・	16 P
・推奨エンコード設定	・・・	18 P
・その他再生ファイルの設定値	・・・	19 P
・アーカイブ再生	・・・	20 P
■ 設定		
・システム設定	・・・	28 P
・画面設定	・・・	29 P
・時刻設定	・・・	30 P
・ネットワーク設定	・・・	31 P
・無線LAN設定	・・・	36 P
・クライアント認証	・・・	37 P
・設定診断	・・・	40 P
・リフレッシュ設定	・・・	41 P
・サービス設定	・・・	42 P
・同期設定	・・・	43 P
・音量設定	・・・	48 P
・ドライブ設定	・・・	49 P
・内部フォルダ設定	・・・	51 P
・スケジュール再生継続設定	・・・	53 P
・再生モード設定	・・・	54 P
■ 操作		
・フォーマット	・・・	56 P
・ログ表示	・・・	57 P
・ファームアップ	・・・	61 P
・シャットダウン	・・・	63 P
・WindowsUpdate	・・・	64 P
■ その他		
・使用許諾	・・・	66 P
・トラブルシューティング	・・・	67 P
・OSのプロキシ設定手順	・・・	71 P
・ファームウェアアップデート	・・・	73 P
・リモコン操作	・・・	74 P
・MINIリモコン操作	・・・	76 P
・本マニュアルで解決できない場合	・・・	79 P
■ 上級者向け設定マニュアル		
・HDMI-CEC	・・・	81 P
・Wake on RTC	・・・	82 P
・Wake on LAN	・・・	83 P
・クライアント証明書を利用した無線LANの設定方法	・・・	86 P

基本操作編

基本操作編 起動と終了

■ 「STB4L」の起動方法

1. 「STB4L」の電源ボタンを押すと電源が入ります。
この時電源ボタンが青く点灯します。
2. 「STB4L」が起動します。
クライアント認証（37ページ参照）前の場合はネットワーク設定画面を表示します。
クライアント認証が完了し、デジサインサーバと同期済みの場合 自動で番組を再生します。

■ 「STB4L」の終了方法

1. 「STB4L」の画面からシャットダウンします。
(63ページ参照)



電源ボタン

基本操作編 利用モードについて

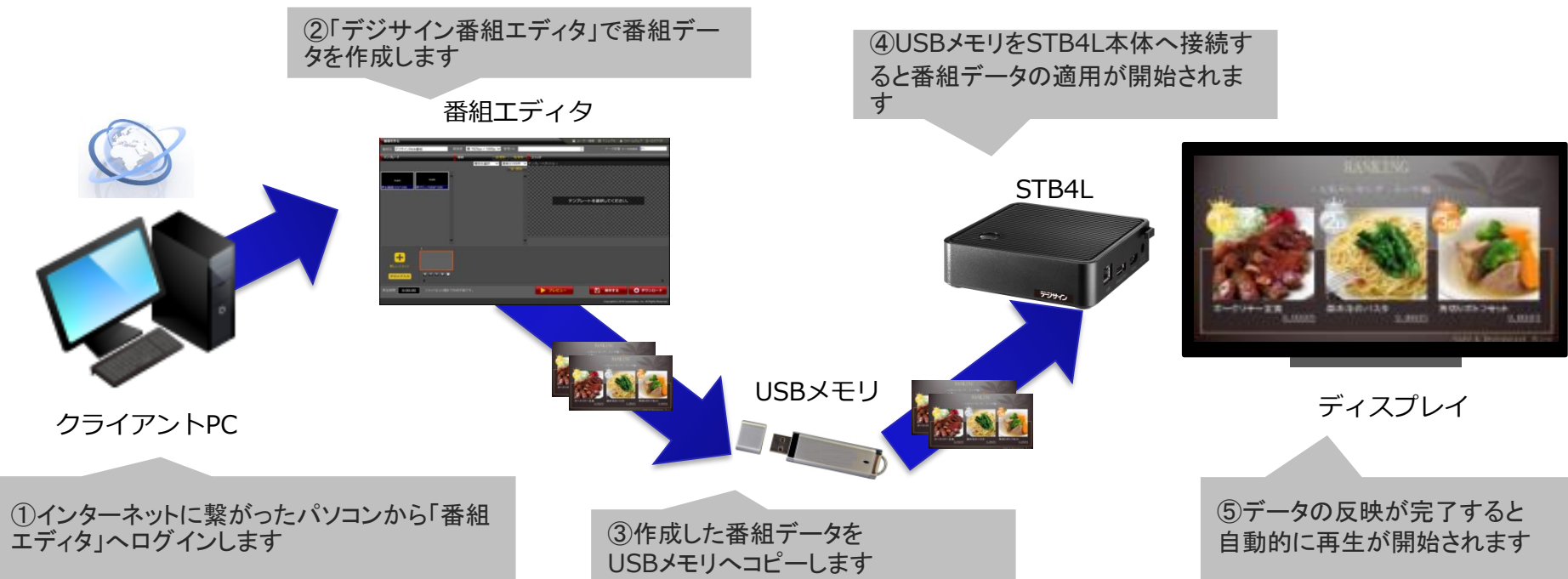
■ 「利用モード」とは

「STB4L」は「スタンドアロン」「SaaS/PKG」の2種類のモードがご利用頂けます。
製品出荷時は「スタンドアロン」モードに設定されています。（設定の変更については28ページ参照）

■ スタンドアロンモード

「デザイン番組エディタ」で作成した番組データを、共有フォルダ、またはUSBメモリを使用してSTB4Lへ適用し、再生するモードです。番組反映が完了すると自動的に再生が開始されます。

◆ USBメモリ番組更新方法



基本操作編 利用モードについて

◆共有ファイル番組更新方法

②「番組エディタ」で番組データを作成します



クライアントPC

デジサイン番組エディタ



共有フォルダ



STB4L



ディスプレイ

①インターネットに繋がったパソコンから「番組エディタ」へログインします

③作成した番組データを、STB4Lの共有フォルダへコピーします。

④自動で番組データの適用が開始されます
データの反映が完了すると自動的に再生が開始されます

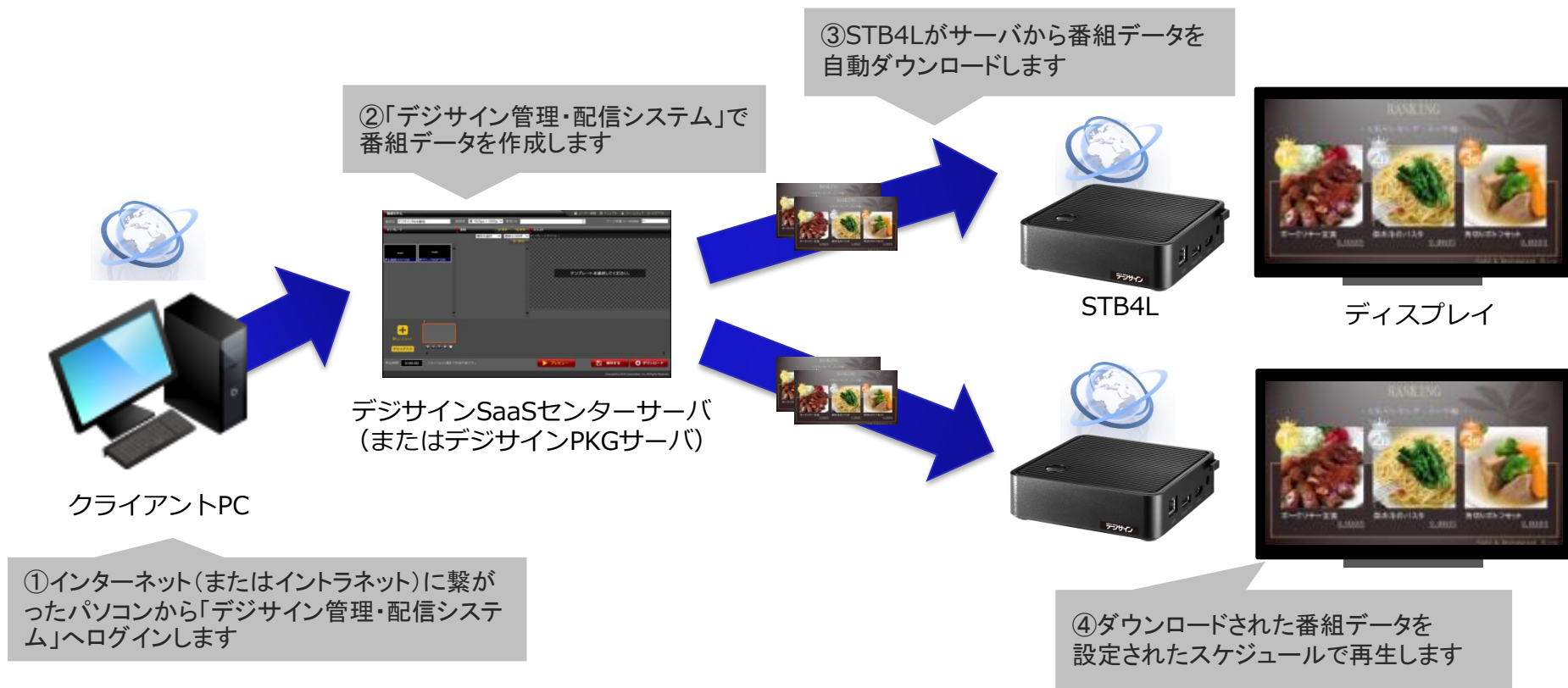
基本操作編 利用モードについて

■ SaaS/PKGモード

「デザイン管理・配信システム」で作成した番組データをインターネット（またはイントラネット）経由でSTB4Lへ配信し、再生するモードです。ダウンロードが完了すると設定されたスケジュールで番組データが再生されます。

本モードでご利用の場合、STB4Lをインターネット（またはイントラネット）へ接続する必要があります。

※別途、デザインSaaSのご契約、またはデザインPKGの購入が必要となります。



基本操作編 利用モード別機能一覧

分類	機能	スタンドアロン	SaaS/PKG		本マニュアル ページ数
			未認証	認証済	
ホーム		○	○	○	8 P
再生	スケジュール再生	○	○	○	13 P
	アーカイブ再生	×	○	○	20 P
設定	システム設定	○	○	○	28 P
	画面設定	○	○	○	29 P
	時刻設定	○	○	○	30 P
	ネットワーク設定	○	○	○	31 P
	無線LAN設定	○	○	○	36 P
	クライアント認証	×	○	○	37 P
	設定診断	×	○	○	39 P
	リフレッシュ設定	○	○	○	41 P
	サービス設定	○	○	○	42 P
	同期設定(SaaS/PKG)	×	×	○	43 P
	同期設定(スタンドアロン)	○	×	×	46 P
	音量設定	○	○	○	48 P
	ドライブ設定	○	○	○	49 P
	内部フォルダ設定	○	○	○	51 P
	スケジュール再生継続設定	×	○	○	53 P
	再生モード	×	○	○	54 P
操作	フォーマット	○	○	○	56 P
	ログ表示	○	○	○	57 P
	ファームアップ	○	○	○	61 P
	シャットダウン	○	○	○	63 P
	WindowsUpdate	○	○	○	64 P
その他	使用許諾	○	○	○	66 P

基本操作編 メニュー画面(1)

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■ 「メニュー画面」を表示するには

キーボードで「Ctrl」 + 「Alt」 + 「1」を押すか、リモコンの「ホーム」ボタンを押すと、メニュー画面（下図）が表示されます。

メニュー項目の説明	
ホーム	現在のファームウェアのバージョンと本体のシリアル番号が表示されます。
再生	スケジュール再生・アーカイブ再生を行います。
設定	以下の設定が行えます。 画面設定（表示領域） 時刻設定 ネットワーク 無線LAN クライアント認証 同期設定 設定診断 リフレッシュ設定 サービス設定
操作	以下の操作が行えます。 フォーマット ログ表示 再起動・シャットダウン ファームアップ
その他	使用許諾を確認できます。

基本操作編 メニュー画面(2)

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■ 「メニュー画面」に表示されている情報

①最終同期時刻

デジサインサーバと同期した最終時刻が表示されます。

②現在の配信ステータス

待機中：デジサインサーバとの同期を待っている状態です。

同期中：デジサインサーバと同期中です。

エラー：デジサインサーバとの同期に失敗しました。

エラーの場合、ネットワーク環境に問題がある可能性があります。ネットワーク環境を確認してください。

③デジサインファームウェアバージョン

現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

④S/N（製造番号）




ご利用中のSTB4Lの製造番号が表示されます。



基本操作編 キーボード操作

操作目的	キーボード操作
メニューや項目を移動する	カーソルキー「↓」
メニューや項目を逆に移動する	カーソルキー「↑」
メニュー画面へ移動する	「Ctrl」 + 「Alt」 + 「1」 または 「Home」
最新ファームウェアの確認	「Ctrl」 + 「Alt」 + 「3」
入力値を消す	「BackSpace」
スケジュール再生を開始する	「Ctrl」 + 「Alt」 + 「2」
アーカイブリスト画面を表示する	「Ctrl」 + 「Alt」 + 「4」
次の番組にスキップする ※スケジュール再生中のみ有効	「Ctrl」 + 「Alt」 + 「2」
利用中のディスプレイの設定を、最適な画面設定に変更する	「Ctrl」 + 「Alt」 + 「R」

基本操作編 入力時の操作

	操作目的	キーボード操作
	メニューや項目を移動する	カーソルキー「↓」「↑」 (次の項目が表示されます)
	ラジオボタンの選択を切り替える	カーソルキー「→」「←」 ※ラジオボタンを選択している 状態で押してください。
	テキストボックスに入力する	英数字キー ※テキストボックスを選択してい る状態で押してください。

キーボード操作の注意事項

※ キーを連打すると画面が動かなくなる事がありますので、注意してください

再生編

再生編 スケジュール再生

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■「スケジュール再生」とは

デジサイン管理システムの「スケジュール管理」で登録されているスケジュールに沿って、番組を再生します。

※スケジュール設定で番組が登録され、同期が完了している場合に再生することができます。

■再生方法

「スケジュール再生」を選択すると読み込みを開始し(図1)、読み込み完了後、スケジュールに登録されている番組の再生が始まります。

ただし、デジサイン管理システムの「スケジュール管理」で番組が登録されていない場合や同期が完了していない場合は「番組がありません」というメッセージが表示されます。(図2)

※パスワード付きのプロキシサーバを経由してURL素材・HTML素材を再生するとき、ログイン用のダイアログが表示されます。(71ページ参照)

※アクセス制限がかかったのwebページをURL素材・HTML素材として再生するとき、ログイン用のダイアログが表示されます。

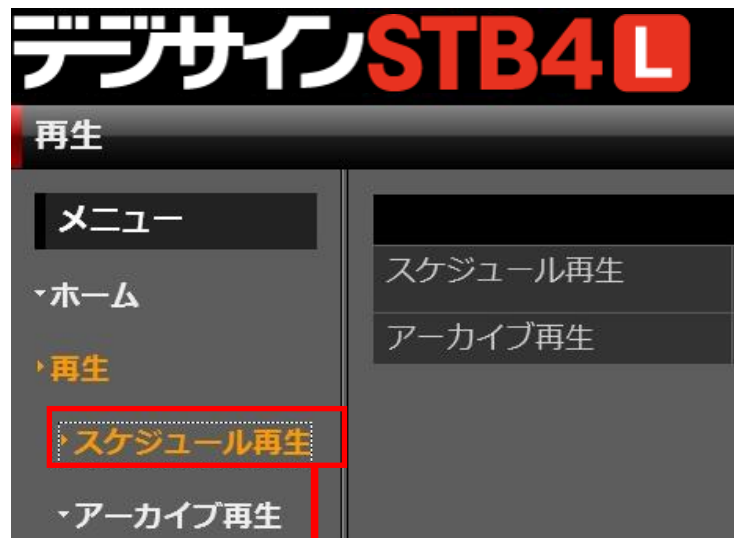


図1



図2

再生編 番組データコピー(1)

スタンドアロン限定

■「番組データコピー」とは

「番組エディタ」からダウンロードした番組データを、STB4Lにコピーします。

適用後、自動でスケジュール再生が行われます。

■番組データコピーを行う方法（USBメモリ番組更新）

1. 起動時

接続されている全てのUSBメモリのドライブ直下に番組データがある場合、**番組データの作成時間が最新のデータ**をコピーし、適用します。

適用後、自動で再生が開始されます。

接続されている全てのUSBメモリは**アンマウント**されます。

2. デジサイン起動後に、USBメモリ接続時接続したUSBメモリのドライブ直下に番組データがある場合**番組データの作成時間が最新のデータ**をコピーし、適用します。

適用後、自動で再生が開始されます。

接続されている全てのUSBメモリは**アンマウント**されます。

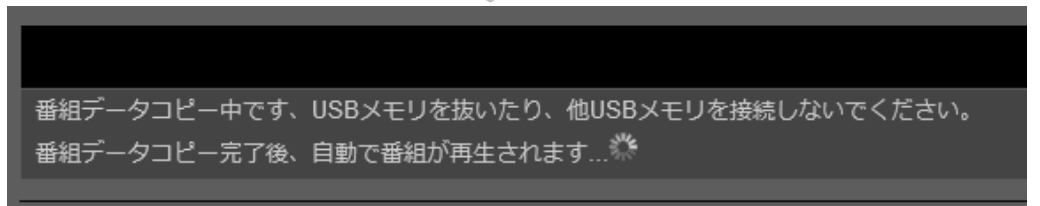
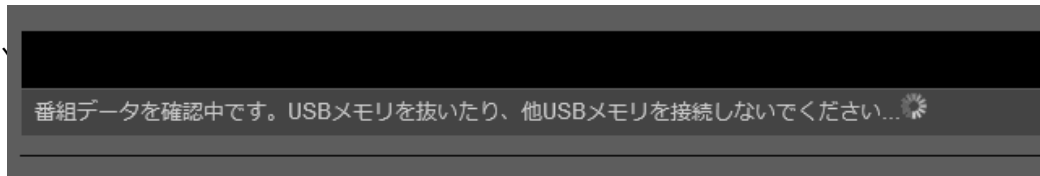
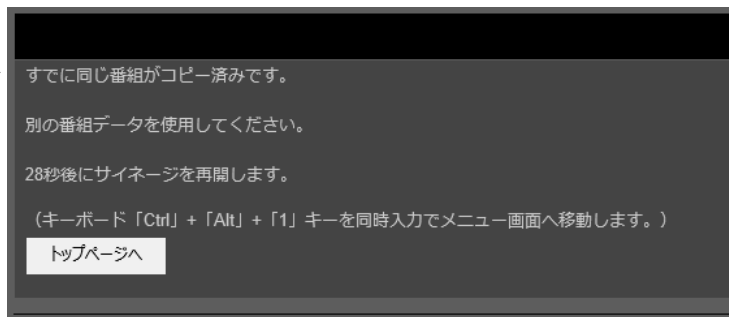


図1



※USBメモリを接続した後、番組データコピーが完了するまで、絶対にUSBメモリを抜いたり、他USBメモリを接続しないでください。
※既に適用されている番組データを、再度適用することは出来ません。(図1)

再生編 番組データコピー(2)

■ 番組データコピーを行う方法(共有フォルダ番組更新)

同一ネットワーク環境に接続しているPCから、STB4Lの共有フォルダにアクセスします。

共有フォルダにアクセスするには、PCのエクスプローラ(図1)を開き、アドレスバーに以下のように入力してください。

¥¥[STB4LのIPアドレス]¥sync

(STB4LのIPアドレスは、ネットワーク設定(31ページ)をご参照し、確認してください。)

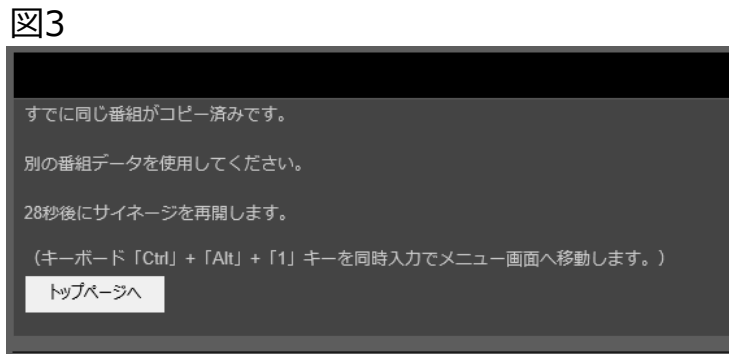
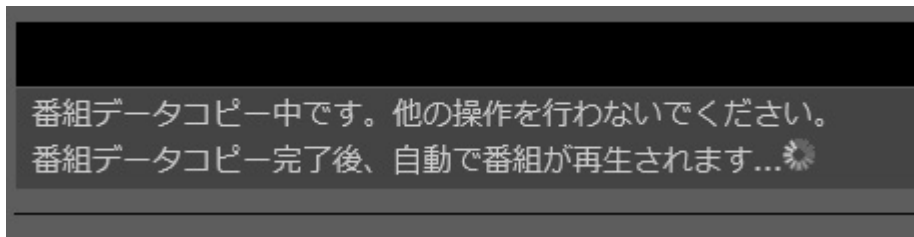
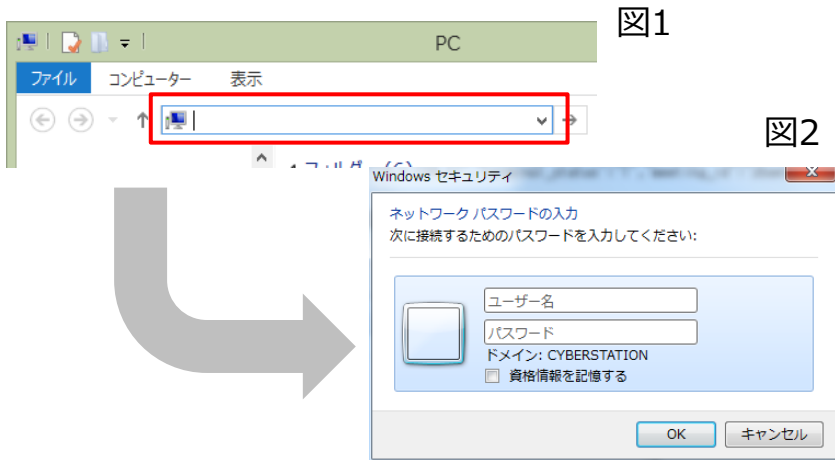
アクセスすると、ネットワークパスワードの入力が表示されます。(図2)
以下の内容で入力し、OKボタンを押してください。

ユーザ名	sync
パスワード(デフォルト)	sync

アクセス後フォルダ番組データを共有フォルダへコピーしてください。
その後自動でコピーされ、適用されます。
適用後、自動で再生が開始されます。

共有フォルダの設定に関しては、同期設定(46ページ)をご参照ください

※既に適用されている番組データを、**再度適用することは出来ません。**(図3)

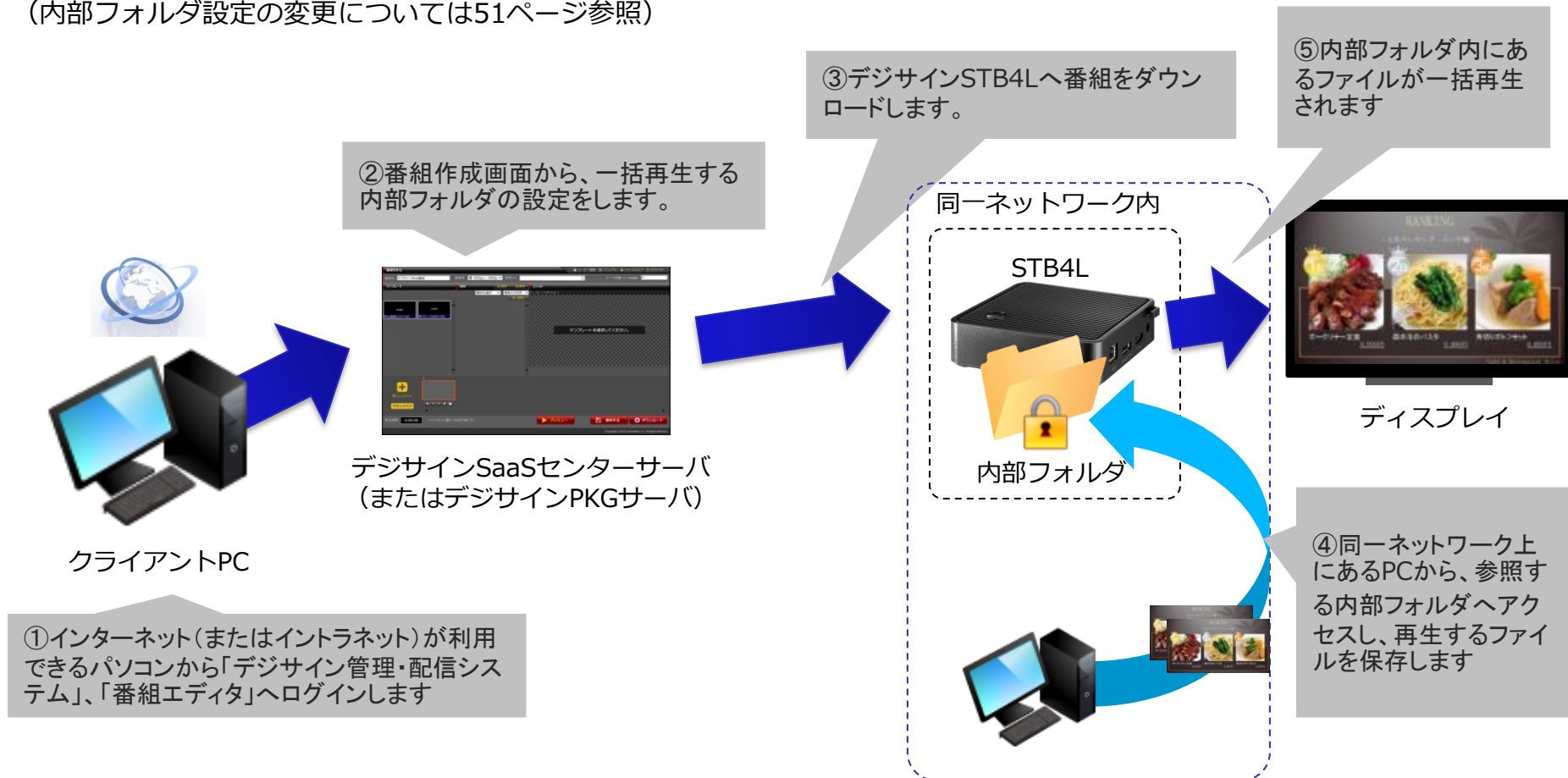


再生編 内部フォルダ内のコンテンツ一括再生 (1)

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■ 内部フォルダ内のコンテンツ一括再生

内部フォルダ内のコンテンツ一括再生とは、端末内の内部フォルダに保存されている素材を一括で再生する機能です。「デジサイン管理・配信システム」「番組エディタ」から一括再生する内部フォルダを番組に設定します。(内部フォルダ設定の変更については51ページ参照)



再生編 内部フォルダ内のコンテンツ一括再生 (2)

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■ 内部フォルダへのアクセス方法

※事前に内部フォルダ設定 (52P参照) にて、機能を有効にし、内部フォルダへアクセス権の設定をしてください。

同一ネットワーク環境に接続しているPCから、デジサインSTB4Lの内部フォルダにアクセスします。

内部フォルダにアクセスするには、PCのエクスプローラ (図1) を開き、アドレスバーに以下のように入力してください。

¥¥[STB4LのIPアドレス]¥share

(STB4LのIPアドレスは、ネットワーク設定 (31ページ) をご参照し、確認してください。)

アクセスすると、ネットワークパスワードの入力が表示されます。(図2)

内部フォルダ設定で設定したユーザ名とパスワードを入力すると、内部フォルダへアクセスすることができます。

アクセス後は、再生するファイルを内部フォルダへコピーしてください。

再生できるファイルの種類は図3の通りです。

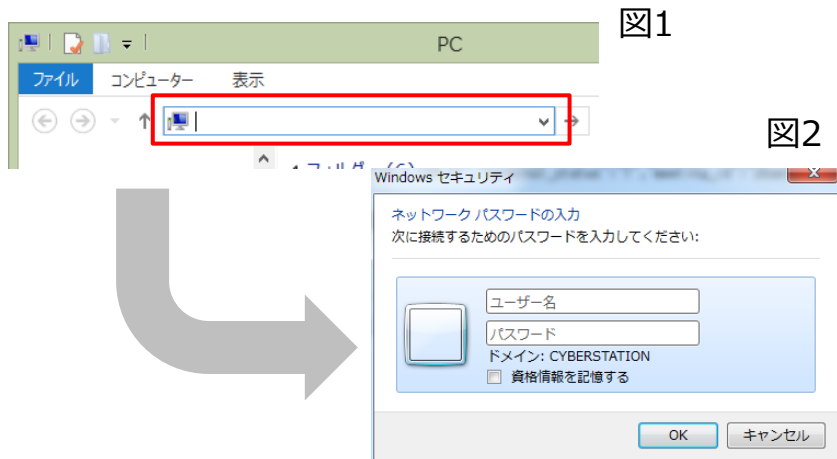


図3

再生できるファイルの種類
jpg
gif
png
mp4
mov
pdf

再生編 推奨エンコード設定

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

ファイル形式	H264(mp4,mov)	ファイルサイズ	500MB以下
オーディオ エンコード モード	CBR		
ビデオ エンコード モード	CBR		
オーディオ コーデック	MPEG-4 AAC-LC		
オーディオ形式	192 kbps, 48 kHz, stereo CBR		
ビデオ コーデック	H.264(MPEG-4 AVC)		
ビデオ ビット レート	20000Kbps (推奨値) 40000Kbps以内		
ビデオ サイズ	1920px × 1080px以内		
フレーム レート	60fps以内(4K解像度に設定したディスプレイに 表示する場合、30fps以内)		

再生編 その他再生ファイルの設定値

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

ファイル形式	jpg,jpeg,gif,png
ファイルサイズ	500MB以内
画面サイズ	3840px × 2160px以内
解像度	100DPI以内(推奨値)

ファイル形式	pdf
ファイルサイズ	200MB以内
ページ数	200ページ以内

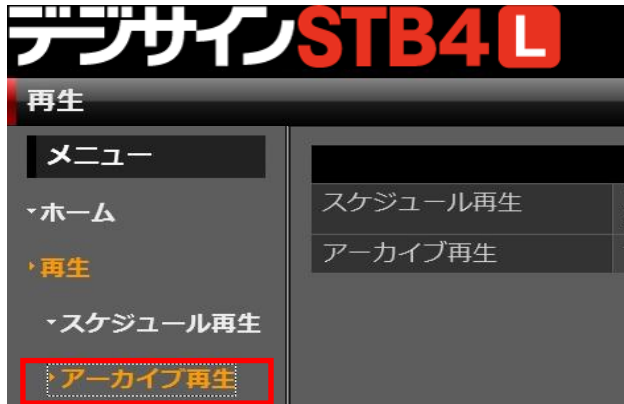
再生編 アーカイブ再生(1)

SaaS/PKG限定

■ 「アーカイブ再生」とは

デザサイン管理システムでアーカイブリスト登録したコンテンツを再生します。

「アーカイブ再生」を選択すると、アーカイブ再生リスト画面が表示されます。

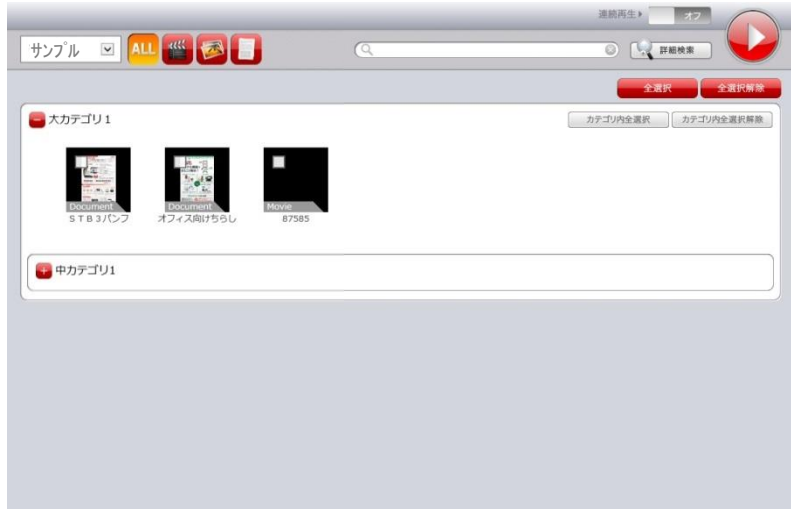


アーカイブコンテンツが表示されない場合

デザサイン管理システムでアーカイブ登録を行っていない場合や同期が完了していない場合は、アーカイブ再生リスト画面にコンテンツは表示されません。

- ・アーカイブコンテンツの同期が完了しているか確認してください。
- ・LANケーブルの接続口やインターネットが接続されているかご確認ください。

アーカイブ再生リスト画面



再生編 アーカイブ再生(2)-1

SaaS/PKG限定

■ デジサインコンテンツ操作方法（基本操作）

■ カテゴリ内コンテンツ表示、非表示

カテゴリ内のコンテンツ、カテゴリの表示と非表示が切り替わります。



■ プロパティ

コンテンツを選択すると、プロパティが表示されます。



再生編 アーカイブ再生(2)-2

SaaS/PKG限定

■ デジサインコンテンツ操作方法（コンテンツ選択）

■ コンテンツの全選択、全選択解除

「全選択」を選ぶとコンテンツを全て選択します。
「全選択解除」を選ぶと、全てのコンテンツの選択が解除されます。

■ カテゴリ内コンテンツの全選択、全選択解除

「カテゴリ内全選択」を選ぶと、カテゴリ内のコンテンツを全て選択します。
「カテゴリ内全選択解除」を選ぶとカテゴリ内のコンテンツ選択が全て解除されます。

■ コンテンツの選択、解除

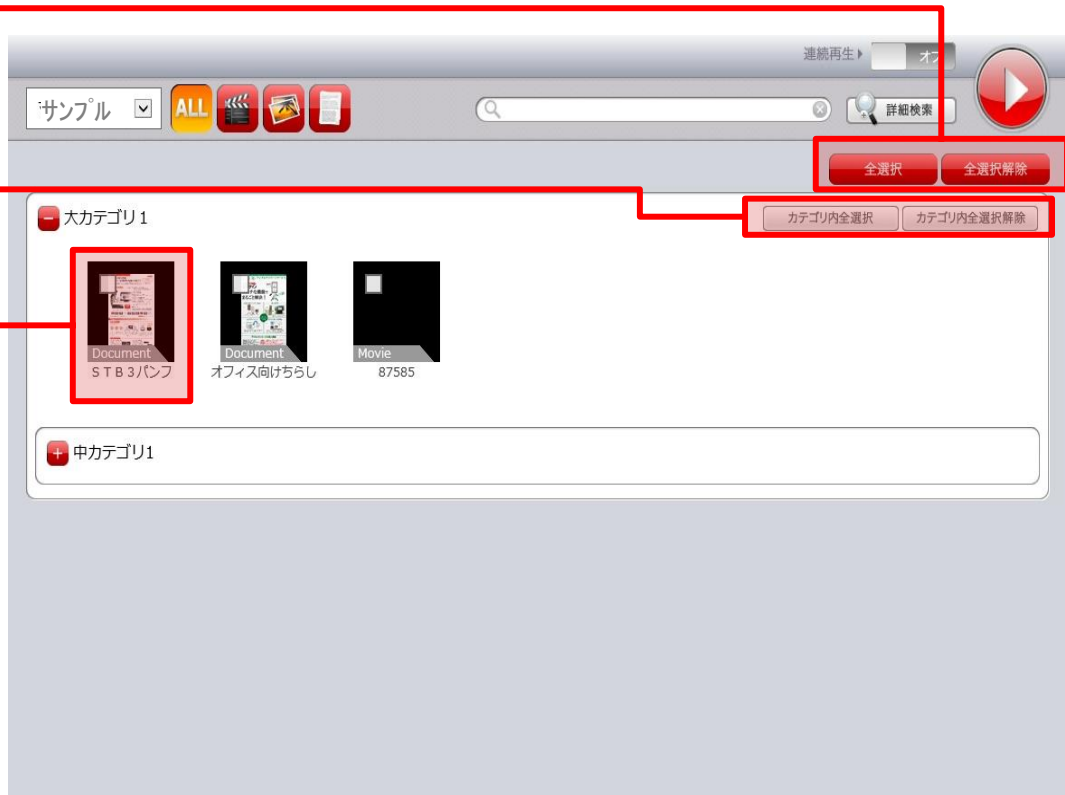
未選択状態のコンテンツを選ぶとチェックマークが付き、選択状態となります。
選択状態のコンテンツを選ぶとチェックマークが解除され、未選択状態となります。



コンテンツ未選択



コンテンツ選択



重要マーク

- ・ 素材登録時に重要素材として登録されている場合はコンテンツに重要マーク『🚨』が付きます。

再生編 アーカイブ再生(2)-3

SaaS/PKG限定

■ デジサインコンテンツ操作方法（再生）

■ 再生

コンテンツが選択されている状態で再生ボタンを押します。

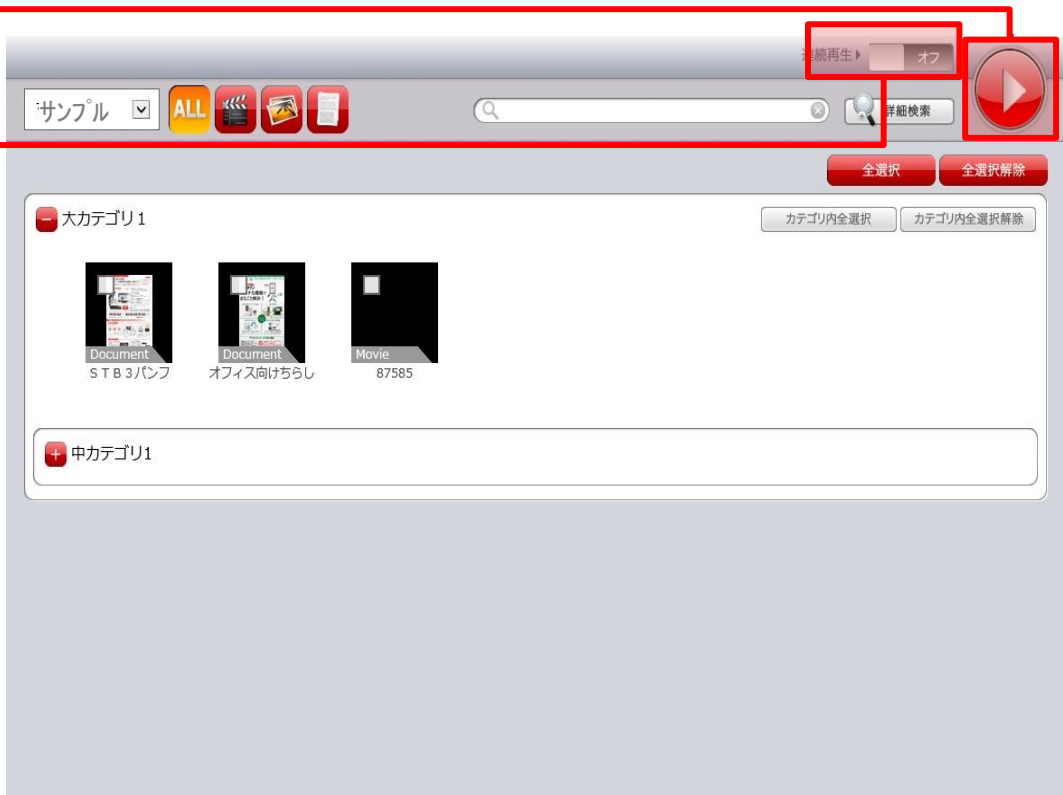
■ 連続再生

連続再生オン・オフを設定し、コンテンツを選択後再生ボタンを押します。

- ・オン状態 最後のコンテンツ再生後、最初のコンテンツの再生が始まります。
- ・オフ状態 最後のコンテンツ再生後、アーカイブメニュー画面に戻ります。

連続再生オフ

連続再生オン



再生編 アーカイブ再生(2)-4

SaaS/PKG限定

■ デジサインコンテンツ操作方法（コンテンツ絞り込み検索）

■ 絞り込み検索

- コンテンツ種別
各ボタンを選ぶとコンテンツ種別（全ファイル、画像ファイル、動画ファイル、ドキュメントファイル）でコンテンツを絞り込めます。



: 全てのファイル



: 画像



: 動画



: ドキュメント

- アーカイブリスト
アーカイブリスト別にコンテンツを絞り込めます。

お客様向け資料

デザイン事例

セミナー用

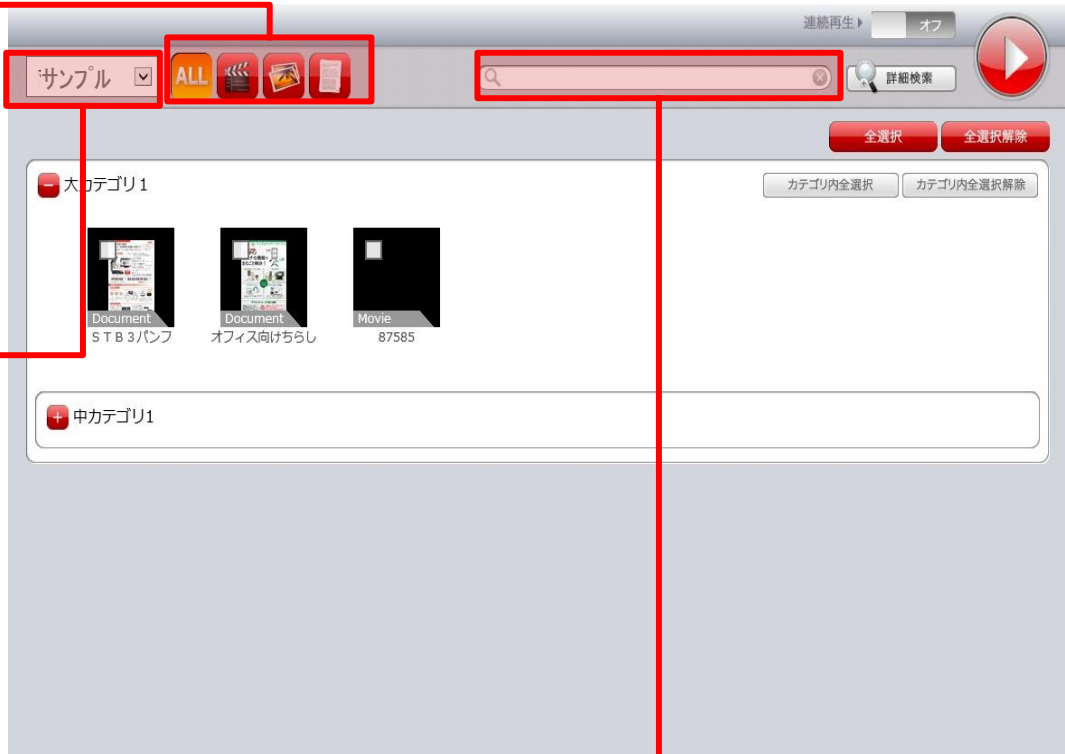
デモ用アーカイブリスト

社内用コンテンツ

お客様向け資料



選択アーカイブリスト



- 文字検索

入力した文字列でコンテンツを絞り込めます。

再生編 アーカイブ再生(2)-5

SaaS/PKG限定

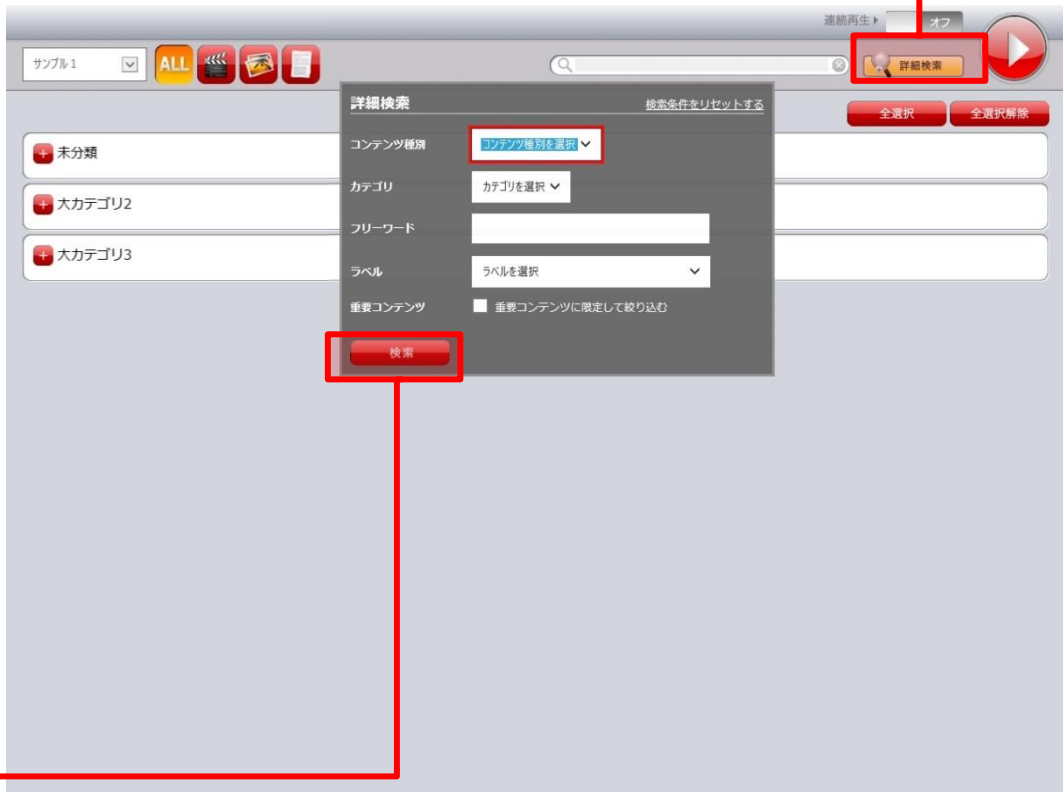
■ デジサインコンテンツ操作方法（コンテンツ詳細検索）

■ 詳細検索

「詳細検索」を押すと検索条件を設定する画面が表示されます。

- ・コンテンツ種別
コンテンツ種別で検索を行います。
- ・カテゴリ
アーカイブカテゴリで検索を行います。
- ・フリーワード
入力文字列で検索を行います。
アーカイブカテゴリ名、コンテンツ名、コンテンツ内に含まれる文字列等が検索対象となります。
- ・ラベル
コンテンツに設定されているラベルで検索を行います。
- ・重要コンテンツ
重要コンテンツに設定されているコンテンツを検索対象とします。

検索条件を設定後、「検索」ボタンを押すと絞り込みが行われます。



再生編 アーカイブ再生(3)

SaaS/PKG限定

■ 上部操作バーを表示するには

アーカイブ再生中にマウスで画面をクリックするか、リモコンのコンテキストメニューボタン（74ページ参照）を押すと、上部操作バーが表示されます。

再度マウスで画面をクリックするか、リモコンの「コンテキストメニュー」ボタンを押すと、上部操作バーが非表示となります。

■ 上部操作バー

- ・ 1つ前、次のコンテンツを表示します。



: 前のコンテンツへ



: 次のコンテンツへ

- ・ アーカイブ再生終了
アーカイブ再生を終了し、アーカイブ再生リスト画面に戻ります。



設定編

設定編 システム設定

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■ 「システム設定」とは
利用するモードの設定を行います。

■ 設定方法

「システム設定」をクリックすると、
STB4Lのシステム設定画面が表示されま
す。

SaaS/PKGモード①
スタンドアロンモード②
のどちらかを選択します。

更新する場合は、ラジオボタンを選択後
「更新」ボタン③を押してください。

モードの説明については「利用モードに
ついて」（4ページ参照）をご参照くだ
さい。

※ 「SaaS/PKG」から「スタンドアロン」に切替える際
解像度が「スタンドアロン」に対応していない解像度だった場合「スタンドアロン」に切り替えることは出来ません。
「画面設定」（29ページ参照）から、「スタンドアロン」に対応した解像度に変更してください。

◆ スタンドアロン対応解像度

- ・ 1280×720
- ・ 1920×1080
- ・ 3640×2160



設定編 画面設定

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■「画面設定」とは

ディスプレイの表示方向(横・縦)の切り替え、解像度設定を行います。

■設定方法

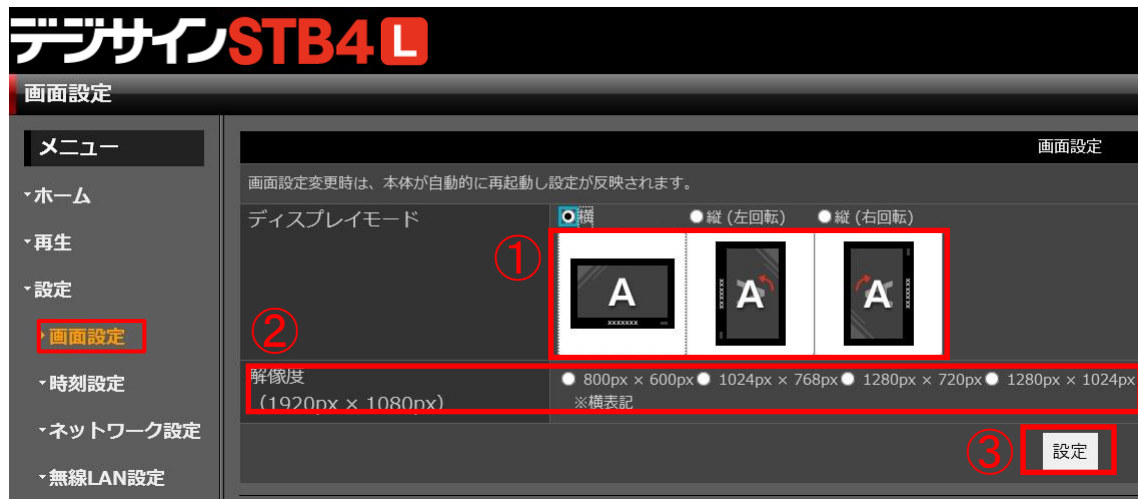
「画面設定」を選択すると、STB4Lの画面設定が表示されます。

- ① ディスプレイモード
 - ② 「解像度()」
 - ③ 設定内容を変更後、
- ① 「横」・「縦(左回転)」・「縦(右回転)」を選択します。※1
 - ② 解像度のカッコ内に表示されている値が現在の設定値となります。
変更する場合は、変更したい解像度値※2 を選択します。
 - ③ 「設定」ボタンを押します。(自動で再起動し、設定が反映されます。)

※1: 「縦(左回転)」、「縦(右回転)」はディスプレイの仕様に合わせて選択してください。

※2: 解像度は以下の値から選択できます。

- ・ 800×600
- ・ 1024×768
- ・ 1280×720
- ・ 1280×1024
- ・ 1360×768
- ・ 1366×768
- ・ 1920×1080
- ・ 3640×2160



- ・ ディスプレイの向きを縦に使用する場合も解像度は横表記となります。
- ・ ご利用中のディスプレイに対応していない解像度を設定した場合、画面が黒くなることがあります。
この場合、「Ctrl」+「Alt」+「R」を押してください。最適な解像度が自動で設定され、画面を再表示します。

設定編 時刻設定

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■ 「時刻設定」とは

STB4Lの時刻設定を行います。

■ 設定方法

①年月日時分秒を入力し、②「設定」ボタンを押してください。

設定した時刻が反映されます。

「タイムサーバーと同期」ボタンを押すと、タイムサーバーから時刻を取得します。

失敗した場合は、ネットワークに接続できていない可能性があります。



設定編 ネットワーク設定 (1)

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■「ネットワーク設定」とは

通信先ドメイン名とプロキシ情報、IPアドレス情報の設定を行います。

■ドメイン設定方法

「STB4Lアカウント情報※1」を見ながら、USBキーボードを使用して、①通信先ドメイン名を入力します。入力内容を確認後、③「設定」ボタンを押してください。※1：「アカウント通知書」に記載されている「クライアント設定情報」をご参照ください。

■プロキシ設定方法

②「有効」を選択して、プロキシIPアドレス、ポート、プロキシユーザ、プロキシパスワードを入力します。入力内容を確認後、③「設定」ボタンを押してください。

デザイン STB4L

ネットワーク設定

メニュー

- ホーム
- 再生
- 設定
 - システム設定
 - 画面設定
 - 時刻設定
 - ネットワーク設定
 - 無線LAN設定
 - 同期設定
 - リフレッシュ設定
 - サービス設定
 - 音量設定
- 操作
- その他

ドメイン・プロキシ設定

通信先ドメイン名

プロキシ

●有効 ○無効

プロキシIPアドレス

ポート

プロキシユーザ

プロキシパスワード

設定

有線LANネットワーク設定

DHCP

○有効 ●無効

IPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

DNS

MACアドレス

設定

無線LANネットワーク設定

DHCP

○有効 ●無効

IPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

DNS

MACアドレス

設定

設定編 ネットワーク設定 (2)

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■ 有線LANネットワーク設定

■ 設定方法

【DHCPを使用する場合】

① DHCPの「有効」を選択して、③「設定」ボタンを押します。

【固定IPアドレスを設定する場合】

① DHCPの「無効」を選択して、② IPアドレス情報、DNSサーバー情報を入力した後、③「設定」ボタンを押します。

③「設定」ボタンを押した後、④「通信確認」(※1)ボタンを押してください。

通信確認が正常の場合、「通信に成功しました。」と表示され、異常の場合は「通信に失敗しました。」と表示されます。

※1 : SaaS/PKGモード時のみボタンが表示されます。

デザサインSTB4L

ネットワーク設定

メニュー

- ホーム
- 再生
- 設定
- 画面設定
- 時刻設定
- ネットワーク設定
- 無線LAN設定
- クライアント認証
- 同期設定
- 設定診断
- リフレッシュ設定
- サービス設定
- 操作
- その他

通信先ドメイン名 *****

プロキシ ●有効 ○無効

プロキシIPアドレス

ポート

プロキシユーザ

プロキシパスワード

設定

有線LANネットワーク設定

DHCP ●有効 ○無効

IPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

DNS

設定

無線LANネットワーク設定

DHCP ○有効 ●無効

IPアドレス 172 . 16 . 9 . 109

サブネットマスク 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ 172 . 16 . 9 . 1

DNS 172 . 16 . 9 . 1

設定

通信確認

通信に成功しました。

通信確認

結果が表示されます。

設定編 ネットワーク設定 (3)

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■ 無線LANネットワーク設定

■ 設定方法

【DHCPを使用する場合】

① DHCPの「有効」を選択して、③「設定」ボタンを押します。

【固定IPアドレスを設定する場合】

① DHCPの「無効」を選択して、② IPアドレス情報、DNSサーバー情報を入力した後、③「設定」ボタンを押します。

③「設定」ボタンを押した後、④「通信確認」(※1)ボタンを押してください。通信確認が正常の場合、「通信に成功しました。」と表示され、異常の場合は「通信に失敗しました。」と表示されます。

※1 : SaaS/PKGモード時のみボタンが表示されます。

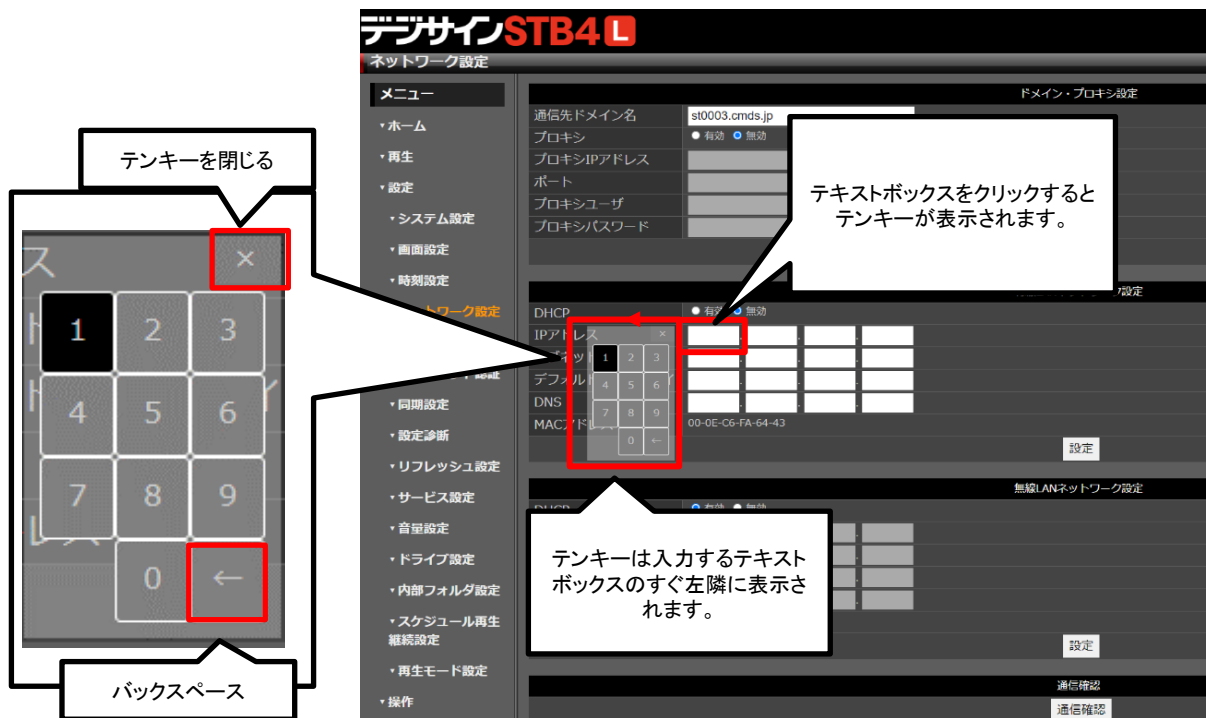
The screenshot shows the '無線LANネットワーク設定' (Wireless LAN Network Settings) screen. The 'DHCP' section is set to '有効' (Enabled). The '設定' (Settings) button is highlighted with a red circle 1. Below it, the IP address, subnet mask, default gateway, and DNS fields are highlighted with a red box 2. At the bottom right, the '通信確認' (Communication Confirmation) button is highlighted with a red circle 3. A message box at the bottom indicates '通信に成功しました。' (Communication successful.) and '通信確認' (Communication Confirmation) with a red circle 4. A red box at the bottom left says '結果が表示されます。' (Results will be displayed.)

■通信結果一覧

表示文章	内容
通信に成功しました。	デザインサーバとの通信確認が成功しました。
通信に失敗しました。	デザインサーバとの通信確認が失敗しました。 以下の点を確認の上、再度通信確認を行って下さい。 ■「通信に失敗しました。」と表示される場合 1、ネットワーク設定の入力値をご確認ください。 2、ハブ・ルーターの電源状態をご確認ください。 3、LANケーブルの接続状態をご確認ください。

■テンキー入力について

Ver2.30から、IPアドレス情報、DNS情報を入力する際、入力フォームの隣にテンキーが表示されるようになりました。



設定編 無線LAN設定

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■ 「無線LAN設定」とは

無線LAN接続先の設定を行います。

■ 追加方法

無線LANプロファイル(①赤枠内)の情報を入力し、②「プロファイル追加」ボタンを押します。

■ 削除方法

③削除するプロファイルを選択し、④「削除」ボタンを押します。

■ 無線LANの接続

⑤接続するプロファイルを選択し、⑥「接続」ボタンを押します。

■ 無線LANの切断

③切断するプロファイルを選択し、⑥「切断」ボタンを押します。



設定編 クライアント認証（新規認証手続き）

SaaS/PKG限定

■「クライアント認証」（新規認証手続き）とは
STB4Lをデザインサーバに新規登録する手続きです。

■ 設定方法

- ①「新規認証手続き」を選択します。
- ②「STB4Lアカウント情報※1」に記載されている「認証ID・認証パスワード」を半角英数字で入力します。
- ③「端末名称」を日本語または英数字で入力します。
- ④入力完了後、「手続き」ボタンを押します。
 手続き成功の場合：自動的に「同期設定」ページに移動します。
 手続き失敗の場合：エラーが表示されます。（図1）
 入力内容を再度ご確認ください。

※1：「アカウント通知書」に記載の「クライアント設定情報」をご参照ください。

■ ライセンス数のエラー表示について

お申込ライセンス数より多くの端末のセットアップを試みた場合、図2のようなエラーが表示され、本設定より先にはお進みいただけません。追加ライセンスのお申込をお願いいたします。

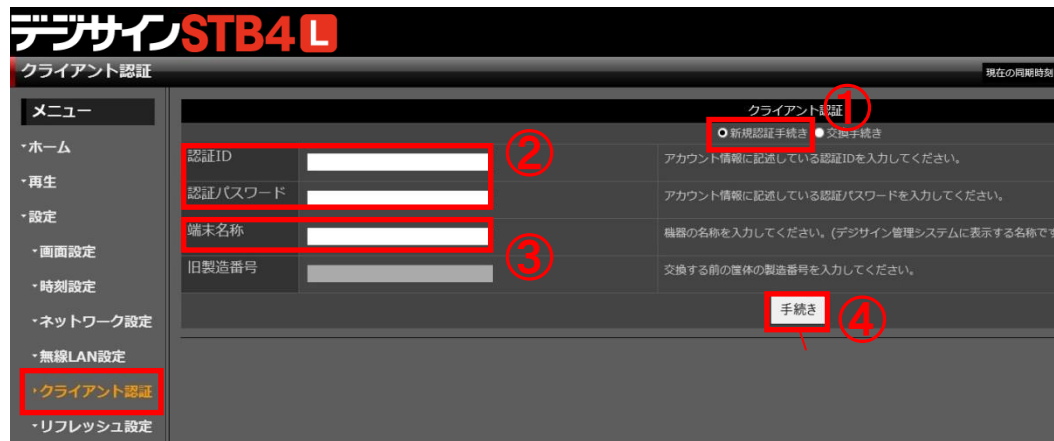
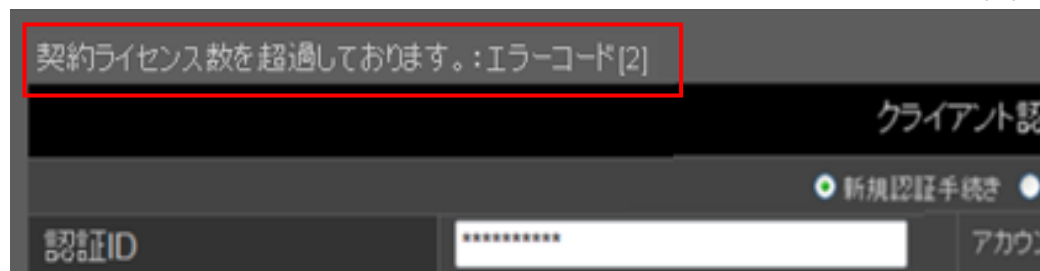


図1



図2



設定編 クライアント認証（交換手続き）

SaaS/PKG限定

■「クライアント認証」（交換手続き）とは
故障時に、別のSTB4Lと交換する手続きです。

■ 設定方法

- ①「交換手続き」を選択します。
- ②「STB4Lアカウント情報」に記載されている、「認証ID・認証パスワード」を半角英数字で入力します。
- ③「旧製造番号(筐体の製造番号※)」を入力します。

※筐体裏側に記載されています。

- ④入力完了後、「手続き」ボタンを押します。
交換手続きが実行されます。

交換手続き完了後、自動的に「同期設定」ページに移動します。



設定編 クライアント認証（解除手続き）

SaaS/PKG限定

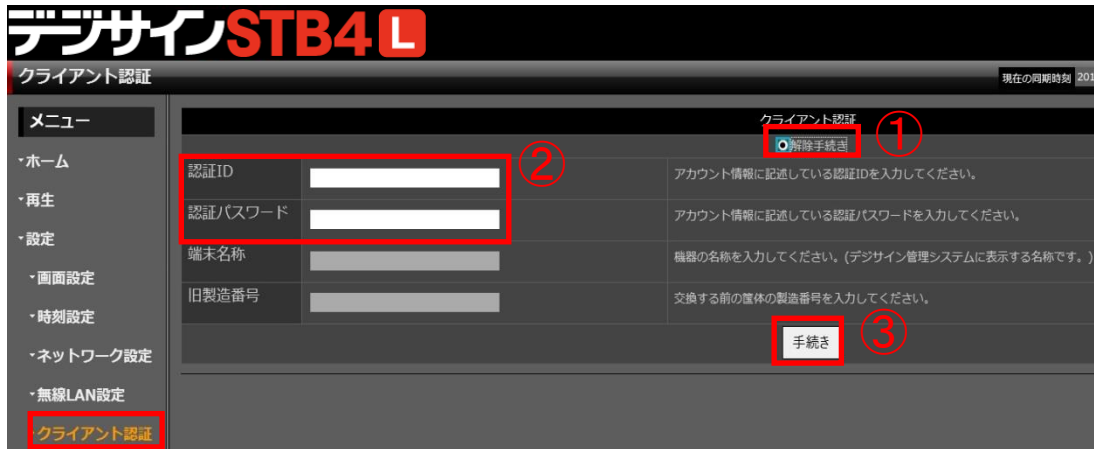
■「クライアント認証（解除手続き）」とは
デザインサーバからSTB4Lを認証解除する
手続きです。

■ 設定方法

- ①「解除手続き」を選択します。
- ②「STB4Lアカウント情報※1」に記載されている、「認証ID・認証パスワード」を半角英数字で入力します。
- ③入力完了後、「手続き」ボタンを押してください。
解除手続きが実行されます。

解除手続き完了後、自動的に「ネットワーク設定」ページに移動します。

※1：「アカウント通知書」に記載の「クライアント設定情報」をご参照ください。



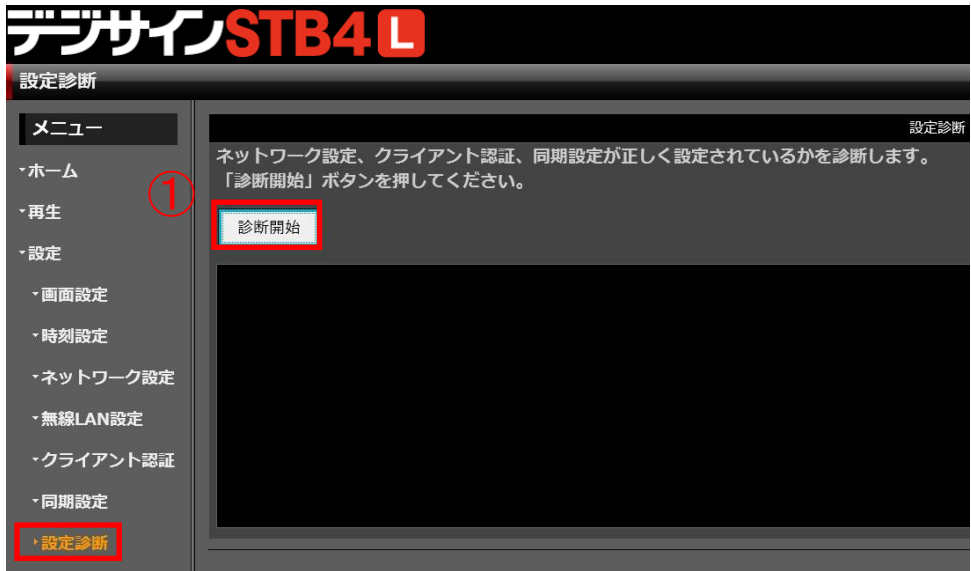
設定編 設定診断

■「設定診断」とは

デジサインサーバと通信ができ、セッetwork設定、クライアント認証、同期設定が正しく設定されているか診断します。

■ 診断方法

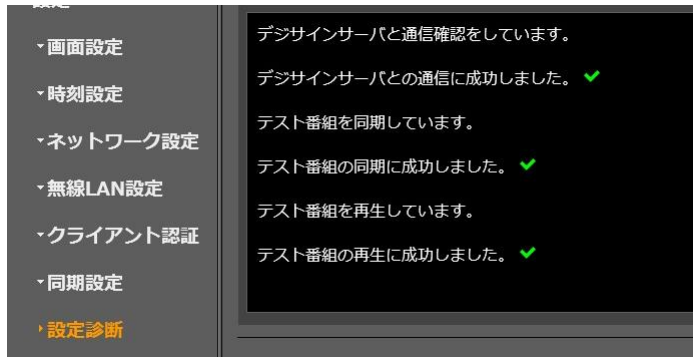
- ①「診断開始」ボタンを押すと診断を始めます。
- ②テスト番組（動画・テロップ）の再生を行ないます。
- ③診断結果が表示されます。



②テスト番組(動画) 再生画面



③診断結果



設定編 リフレッシュ設定

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■ リフレッシュ設定とは

STB4Lは、1日1回必ず電源を落とす必要があります。リフレッシュ設定で指定した時間に、シャットダウンまたは再起動します。

(初期設定は「AM6:00に再起動」となっています)
STB4Lのご利用上、最も影響のない時間を指定してください。

■ 設定方法

- | | |
|------------|--|
| ①リフレッシュモード | 再起動またはシャットダウンを選択します。 |
| ②リフレッシュ時間 | 再起動またはシャットダウンする時間を指定します。
時間は10分単位で指定できます。 |
| ③現在設定 | 現在設定されているリフレッシュモードとリフレッシュ時間が表示されています。 |

設定を変更する場合は、変更入力後、④「保存」ボタンを押します。



設定編 サービス設定

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■ サービス設定とは

リモート接続、ディスク保護、Windows Defenderそれぞれの有効・無効の設定を行ないます。

■ 設定方法

① リモート接続

有効にする場合

「有効」を選択して「設定を適用」ボタンを押してください。

無効にする場合

「無効」を選択して「設定を適用」ボタンを押してください。

② ディスク保護

有効にする場合

「有効」を選択して「設定を適用して再起動」ボタンを押してください。

無効にする場合

「無効」を選択して「設定を適用して再起動」ボタンを押してください。

③ Windows Defender

有効にする場合

「有効」を選択して「設定を適用して再起動」ボタンを押してください。

無効にする場合

「無効」を選択して「設定を適用して再起動」ボタンを押してください。

全ての設定を変更するには、それぞれ選択し、④「全ての設定を適用し再起動」ボタンを押してください。



設定編 同期設定(SaaS/PKG)(1)

SaaS/PKG限定

■ 「同期設定」とは

デザサインサーバ利用有無の設定を行います。

※端末ID、インターフェースURLは機器認証(クライアント認証 37ページ参照)時に自動で登録されます。お客様操作では変更できません。

■ 設定方法

「同期設定」を選択すると、STB4Lの同期設定画面が表示されます。

【デザサインサーバを利用しない場合】

① 「同期しない」を選択

【デザサインサーバを利用する場合】

② 「同期する」を選択

・ 「同期しない」を選択している場合
スケジュール情報、素材の更新が行われません。
一時的に同期を止めたい場合、「同期しない」を選択してください。

・ 「同期する」を選択している場合
同期時間で設定している時間にデザサインサーバと同期し、スケジュール情報、素材の更新を行います。

同期設定を更新する場合は、ラジオボタンを選択後、③ 「保存」ボタンを押してください。



設定編 同期設定(SaaS/PKG)(2)

SaaS/PKG限定

■ 「同期間隔設定」とは

設定した間隔でデジサインサーバと同期を行います。

間隔は1分～10分まで設定できます。

初期設定は10分です。

■ 設定方法

- ① 同期時間を選択します。
- ② 「保存」ボタンを押します。

デジサインSTB4L

同期設定

同期設定

同期設定 ●同期しない ●同期する

端末ID 1

インターフェース URL

同期時間 (分) 10

保存

同期間隔指定

同期指示

同期指示

設定編 同期設定(SaaS/PKG) (3)

SaaS/PKG限定

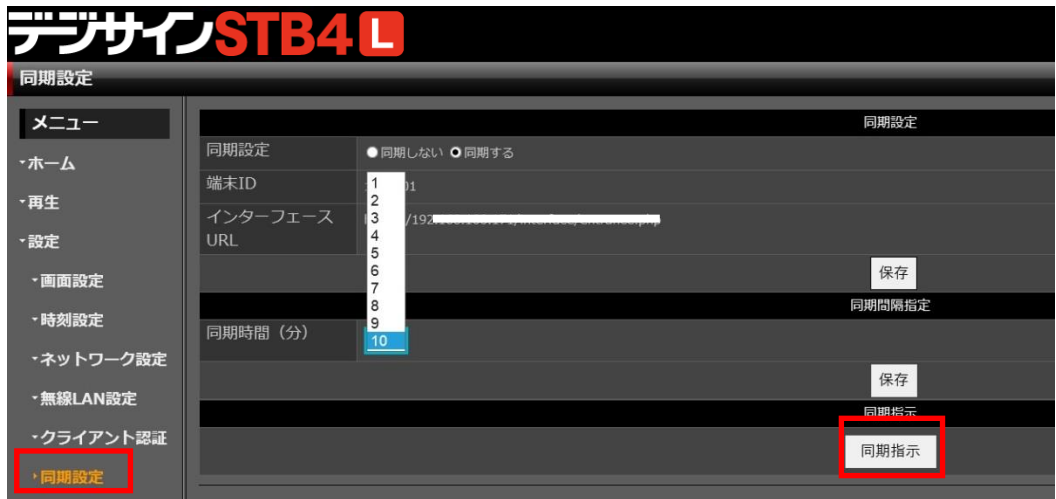
■「同期指示」とは

デジサインサーバと同期を行い、更新されたスケジュールデータ、テンプレートデータ、テロップデータ、静止画・動画素材のダウンロードを行います。

デジサインサーバで更新したデータを素早くダウンロードしたい場合にご利用ください。

■実行方法

「同期指示」ボタンを押します。ボタンを押すとデジサインサーバと同期を開始します。デジサインサーバに更新されたスケジュールデータ、テンプレートデータ、テロップデータ、静止画・動画素材があった場合、更新されたデータのみダウンロードを行います。



設定編 同期設定(スタンドアロン) (1)

スタンドアロン限定

■ 「同期設定」とは

番組データの更新方法の設定を行います。

■ 「共有フォルダ番組更新設定」とは

共有フォルダを使用した番組データ更新の設定を行います。

■ 同期設定

共有フォルダ番組更新を利用するかしないかの設定を行います。

【共有フォルダ番組更新を利用する場合】

① 「有効」を選択

【共有フォルダ番組更新を利用しない場合】

② 「無効」を選択

■ パスワード

共有フォルダへアクセスするネットワークパスワードを設定します。

設定するパスワードを、③ 「パスワード」と④ 「パスワード確認」に入力してください。

設定入力後、⑤ 「設定」 ボタンを押します。
(自動で再起動し、設定が反映されます。)

設定編 同期設定(スタンドアロン) (2)

スタンドアロン限定

■ 「USBメモリ番組更新設定」とは

USBメモリを使用した番組データ更新の設定を行います。

■ 同期設定

USBメモリ番組更新を利用するかしないかの設定を行います。

【USBメモリ番組更新を利用する場合】

① 「有効」を選択

【USBメモリ番組更新を利用しない場合】

② 「無効」を選択

設定入力後、③ 「設定」ボタンを押します。

デザインSTB4L

同期設定

メニュー

- ホーム
- 再生
- 設定
- システム設定
- 画面設定
- 時刻設定
- ネットワーク設定
- 無線LAN設定
- 同期設定

共有フォルダ番組更新設定

同期設定	<input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
共有フォルダ名	sync
パスワード	<input type="password"/>
パスワード確認	<input type="password"/>
アクセスパス	¥¥192.168.100.201¥sync

設定

USBメモリ番組更新設定

同期設定	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
------	--

設定

■ 音量設定とは

スケジュール再生、アーカイブ再生で動画を再生するときの音量の設定を行ないます。

■ 設定方法

- ① 音量を選択します。（初期設定は100%です）
- ② 「設定」ボタンを押します。



設定編 ドライブ設定

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■ ドライブ設定とは

コンテンツデータを保存するドライブの設定を行います。

デフォルトはEドライブ(本体の内蔵ドライブ)となっています。

■ 設定方法

①事前に本体に外部記憶媒体(USBメモリ、MicroSDカード等)を接続してください。外部記憶媒体の推奨形式については、次ページを参照してください。

- ※1、スタンドアロンモードをご利用で、USBメモリ番組更新機能を有効に設定されている場合、外部記憶媒体を接続する前に、「USBメモリ番組更新機能を一時的に無効にする」を押してください。有効のままだと、外部記憶媒体が認識されません。
- ※2、USBメモリ番組更新機能を無効にした後、図1のボタンが表示されます。ドライブ設定を行わない場合は必ずこのボタンを押して有効に戻してください。

②「保存先ドライブ」：コンテンツデータを保存するドライブを選択します。

③「データ移行」：データの移動内容を選択します。

- ・現在のドライブに保存されているデータを移動する。

- …現在のドライブに保存されているコンテンツデータを、選択した保存先ドライブへ移動します。

- 設定後は、移動したコンテンツデータでスケジュール再生が行われます。

- ・現在のドライブに保存されているデータを移動せず削除する。

- …現在のドライブに保存されているコンテンツデータを、選択した保存先ドライブへ移動しません。また現在のドライブに保存されているコンテンツデータは全て削除されます。

- 設定後は、コンテンツファイルを再同期する必要があります。

④「設定を適用し再起動」ボタンを押します。その後2回再起動されます。

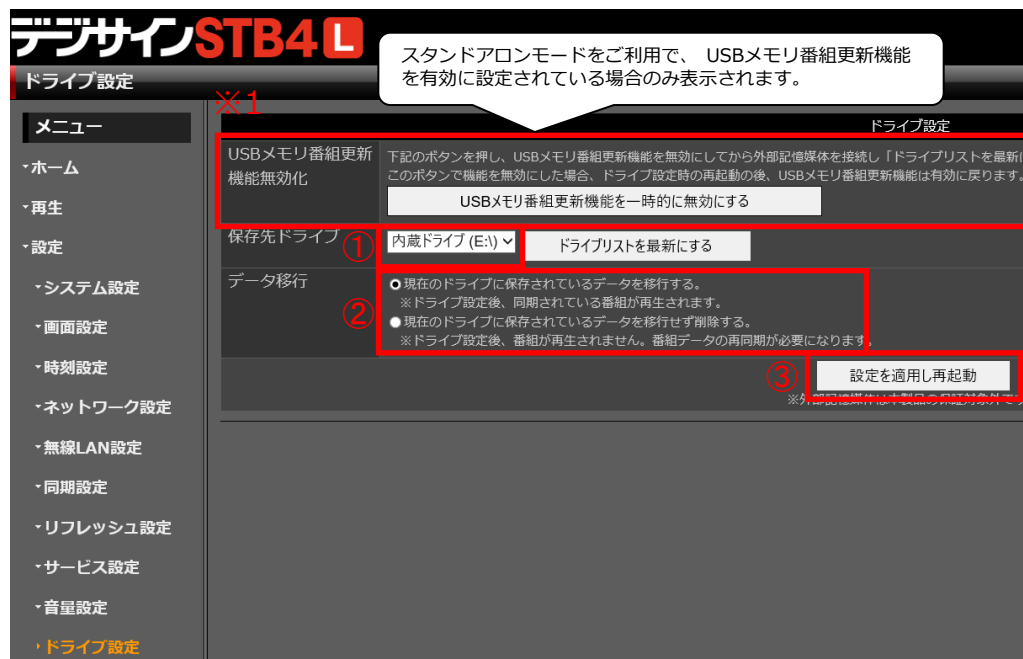
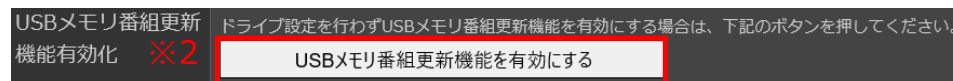


図1



USBメモリ(USB2.0以上)	
ファイルシステム	NTFS
容量	32GB以上
MicroSDカード(Class10)	
ファイルシステム	NTFS
容量	32GB以上
ファイルシステムが上記以外の場合、あらかじめWindowsのPCから、NTFS形式にフォーマットしてからご使用ください。	

※外部記憶媒体及び保存されているコンテンツデータは、本製品の保障対象外です。

設定編 内部フォルダ設定 (1)

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■内部フォルダ設定とは

内部フォルダへのアクセス設定や、同期フォルダ機能の有効/無効設定を行います。

■内部フォルダ設定

①機能の有効無効

内部フォルダ設定の有効/無効を設定します。

無効に設定した場合、内部フォルダの共有は外れます。
有効に設定した場合、アクセス権の設定をもとに内部フォルダが共有されます。

②アクセスパス

内部フォルダへアクセスするパスが表示されます。

③同期間隔

内部フォルダ内に保存されたコンテンツファイルの更新間隔を設定します。

設定できる間隔は30秒、25秒、20秒、15秒、10秒、5秒です。

設定編 内部フォルダ設定 (2)

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■内部フォルダ設定とは

内部フォルダへのアクセス設定や、同期フォルダ機能の有効/無効設定を行います。

■アクセス権の設定

①syncユーザでアクセスする。

共有フォルダ番組更新機能でアクセスするsyncユーザで内部フォルダにアクセスするかを設定します。

この項目にチェックした場合、ユーザ名とパスワードを入力する必要はありません。

①ユーザ名

内部フォルダへアクセスするユーザ名を入力します。

②パスワード

内部フォルダへアクセスするパスワードを設定します。

③パスワード確認

②と同じパスワードを入力してください。

④作成

「作成」ボタンを押すと、内部フォルダ作成準備が完了し、図1の画面に遷移します。

「今すぐ再起動」を押すと、再起動されます。

「後で再起動」を押すと、内部フォルダ設定画面に戻ります

再起動後、設定した内容が反映されます。

図1

設定編 スケジュール再生継続設定

SaaS/PKG限定

■スケジュール再生継続設定とは

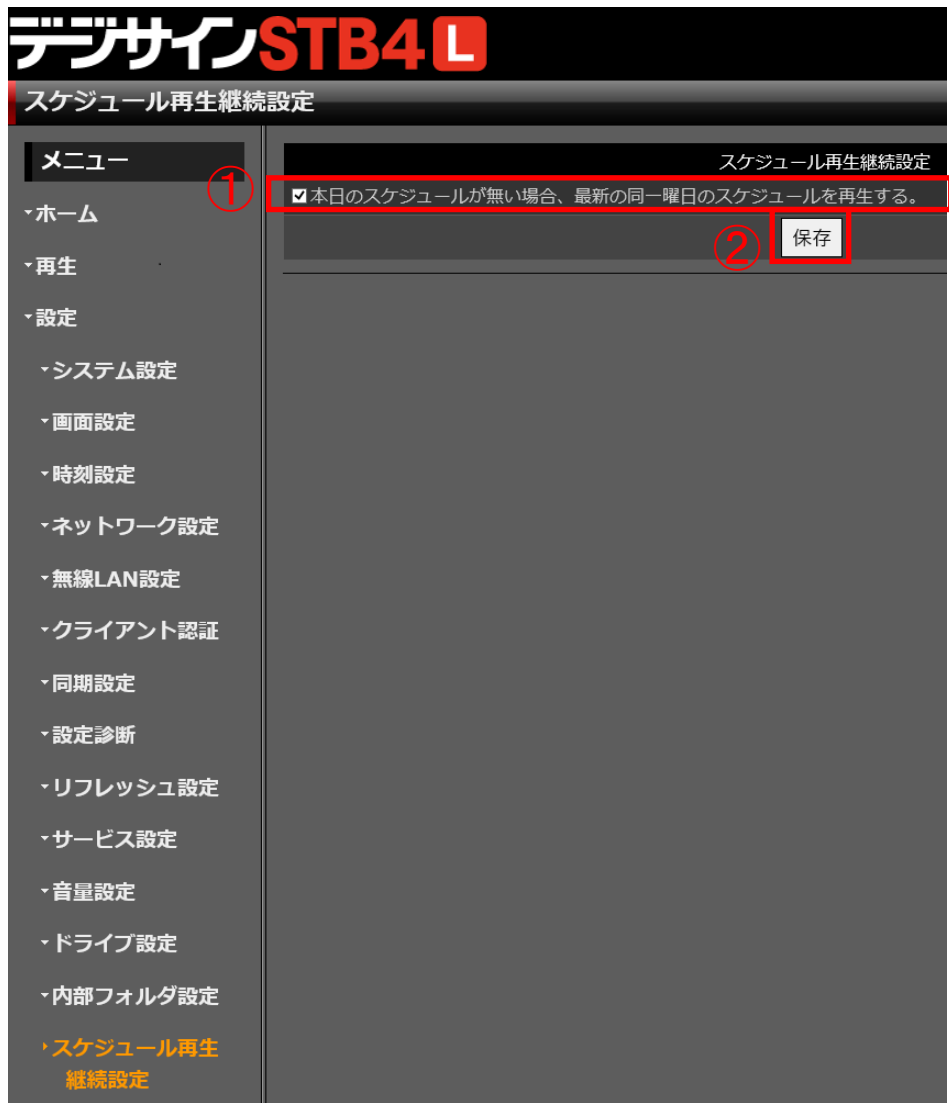
本日のスケジュールが無い場合、スケジュール再生を継続するか設定を行います。

①本日のスケジュールが無い場合、最新の同一曜日のスケジュールを再生する。

この項目にチェックをし、②保存ボタンをクリックすると本日のスケジュールが無い場合でも、最後に同期したスケジュールデータをもとに、本日の同一曜日のスケジュールで再生を継続します。

この項目にチェックをせず、本日のスケジュールが無い場合図1の画面が表示されます。

図1



設定編 再生モード設定

SaaS/PKG限定

■再生モード設定とは

再生モードの設定や、インタラクティブモードにおける無操作許可時間の設定などを行います。

①再生モードは、

- ・スケジュール
 - ・アーカイブ
 - ・インタラクティブ
- の中から選択します。

■無操作許可時間とは

②インタラクティブモードにて、アーカイブリスト画面からスケジュール再生へ戻る時間を「0~9999」秒の間で設定します。

■スケジュールモードとは

起動時、スケジュール再生画面を表示するモードです。

■アーカイブモードとは

起動時、アーカイブリスト画面を表示するモードです。

■インタラクティブモードとは

起動時、スケジュール再生画面を表示するモードです。画面をタッチorクリックすると、アーカイブリスト画面に移ります。

③アーカイブリスト画面で「通常再生へ戻る」ボタンをタッチorクリックすると、スケジュール再生画面に戻ることができます。



③アーカイブリスト画面



操作編

■「フォーマット」とは

コンテンツデータ（スケジュールデータ、テンプレートデータ、テロップデータ、静止画・動画素材）をSTB4Lから削除します。

「スケジュール登録した番組が再生されない」、「番組が正常に再生されない」場合等にご利用ください。

■操作方法

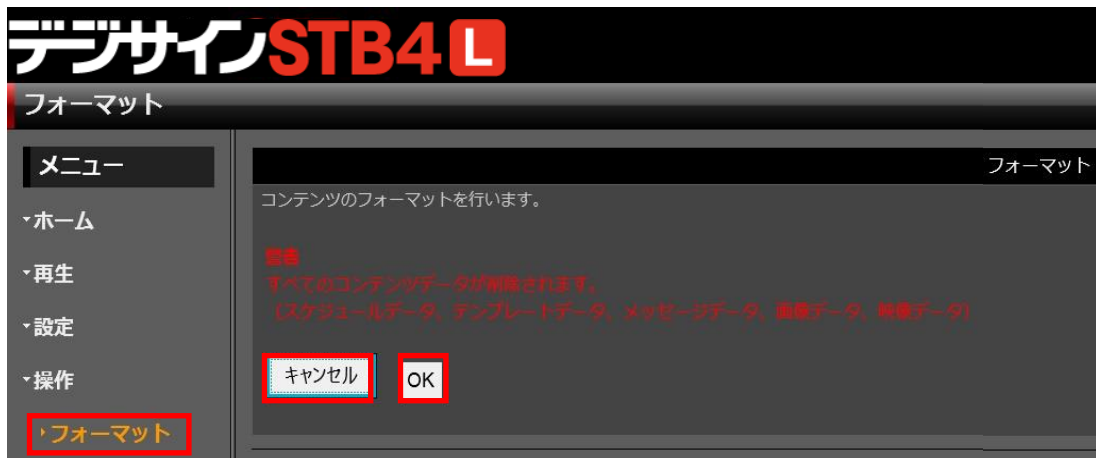
「フォーマット」を選択すると、フォーマット確認画面が表示されます。

【フォーマットを行う場合】

「OK」を押すと、コンテンツデータの削除が行われます。

【フォーマットを行わない場合】

「キャンセル」を押すと、メニュー画面に戻ります。



操作編 ログ表示 (1)

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■ 「ログ表示」とは

STB4Lのアクセスログ・プロセスログを確認できます。

■ 操作方法

「ログ表示」を選択すると、最新のログ10件が表示されます。(1ページに表示されるログは10件となります。)

表示されているログより過去のものを見る場合、「次へ」リンクを押すと11~20件目のログが表示されます。

最終のページが表示されると「次へ」リンクの表示が消えます。

最新のログを見たい場合は「前へ」リンクを押してご覧ください。先頭のページが表示されると「前へ」リンクの表示が消えます。

ログはログファイル50KB [目安: 約60ページ] 分を保存いたします。古いログから順番に削除されます。

ログ内容に関しては、次ページのログ一覧をご覧ください。

日付	時間	メッセージ
7月1日	11:10:42	CBダウンロード処理の開始に失敗しました。
7月1日	11:10:33	ダウンロード処理:終了しました。
7月1日	11:10:31	ダウンロード処理:開始しました。
7月1日	11:00:42	CBダウンロード処理の開始に失敗しました。
7月1日	11:00:33	ダウンロード処理:終了しました。
7月1日	11:00:31	ダウンロード処理:開始しました。
7月1日	10:50:42	CBダウンロード処理の開始に失敗しました。
7月1日	10:50:33	ダウンロード処理:終了しました。
7月1日	10:50:31	ダウンロード処理:開始しました。
7月1日	10:40:52	CBダウンロード処理の開始に失敗しました。

操作編 ログ表示 (2)

■ ログ一覧 1/3

メッセージ	メッセージ内容
システム：起動	STB4Lを起動しました。
ネットワーク設定：取得失敗	他の処理を実行中です。しばらく経ってから再度設定してください。
ネットワーク設定：開始	ネットワーク情報の設定を開始しました。
ネットワーク設定：変更完了	ネットワーク情報の設定が完了しました。
ネットワーク設定：変更失敗	ネットワーク情報の設定に失敗しました。 本ログが表示された場合は、サポートセンターへお問い合わせください。
クライアント認証：開始	デジサインサーバにSTB4Lクライアントの登録を開始しました。
クライアント認証：変更完了	デジサインサーバに登録されているSTB4Lクライアントの変更が完了しました。
クライアント認証：変更失敗	デジサインサーバへのクライアント認証に失敗しました。 クライアント認証（37～39ページ参照）での、認証ID・認証パスワードが異なる または、旧製造番号が異なる可能性があります。もう一度内容をお確かめの上、 「手続き」をお願いいたします。
サーバー設定：変更	サーバー設定の変更が完了しました。
本体フォーマット：開始	フォーマット（コンテンツの消去）を開始しました。
本体フォーマット：終了	フォーマットが終了しました。
本体フォーマット：異常終了	フォーマットが正常に終了できませんでした。 本ログが表示された場合は、サポートセンターへお問い合わせください。
画面設定：開始	画面設定を開始しました。

操作編 ログ表示 (3)

■ ログ一覧 2/3

メッセージ	メッセージ内容
画面設定：変更完了	画面設定が完了しました。
画面設定：変更失敗	画面設定に失敗しました。 本ログが表示された場合は、サポートセンターへお問い合わせください。
ダウンロード処理:開始しました。	【同期が開始されたときに表示されます】デジサインサーバよりコンテンツ情報（スケジュール、静止画・動画素材や番組など）のダウンロードを開始しました。
ダウンロード処理:終了しました。	【同期が終了したときに表示されます】デジサインサーバよりコンテンツ情報（スケジュール、静止画・動画素材や番組など）のダウンロードが終了しました。
ダウンロード処理の開始に失敗しました。	デジサインサーバの準備が完了していない状態、同期が完了している状態、同期処理が開始できない状態です 同期処理が開始できない状態：同期設定（43ページ参照）で「同期しない」に設定されているか、ネットワーク設定（31~35ページ参照）、ネットワーク環境に問題がある可能性があります。上記を一度ご確認の上再度同期を行ってください。
CBダウンロード処理:開始しました。	コンテンツバンクのダウンロードを開始しました。
CBダウンロード処理:終了しました。	コンテンツバンクのダウンロードが終了しました。

操作編 ログ表示 (4)

■ ログ一覧 3/3

メッセージ	メッセージ内容
CBダウンロード処理の開始に失敗しました。	コンテンツバンクのダウンロードが必要ない状態(同期が完了している)、または同期処理が開始できない状態です。 同期処理が開始できない状態の場合、同期設定(43ページ参照)で「同期しない」に設定されているか、ネットワーク設定(31~35ページ参照)、ネットワーク環境に問題がある可能性があります。上記を一度ご確認の上、再度同期を行ってください。
ファームバージョンチェック:STB4L:最新あり	デザインサーバに最新ファームウェアが存在しています。ファームウェアアップデート(73ページ参照)を参考に作業を行ってください。
apache起動確認:開始	Webサービスを開始しました。
apache起動確認:終了	Webサービスを終了しました。
ファームアップデート:開始	STB4Lのファームウェアのアップデートを開始しました。
ファームアップデート:実行	STB4Lのファームウェアのアップデートを実行しました。
ファームアップデート:失敗	STB4Lのファームウェアのアップデートに失敗しました。
無線LANプロファイル設定:開始	無線LANプロファイルの設定を開始しました。
無線LANプロファイル設定:終了	無線LANプロファイルの設定を終了しました。

操作編 ファームアップ

■「ファームアップ」とは

USBメモリからファームウェアをアップデートすることができます。

■ファームアップ方法

※本操作にはUSBマウスとファームアップデータが保存されているUSBメモリが必要です。

ファームアップデータが保存されているUSBメモリを挿入した状態で「ファームアップ」を選択すると、ファームアップ画面が表示されます。

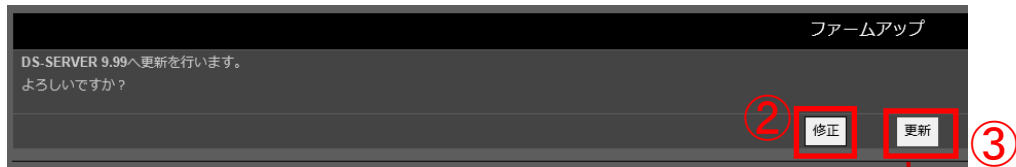
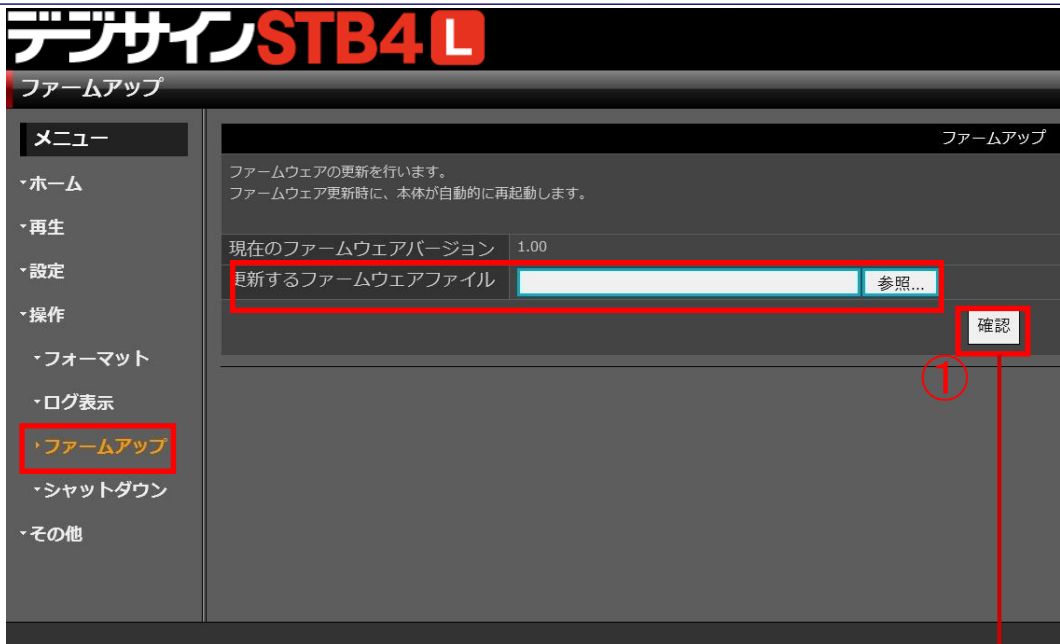
アップデートするファームウェアをファイル参照から選択し、①「確認」ボタンを押してください。

※更新するファームウェアファイルのバージョンが、現バージョンよりも新しくなければ、バージョンアップすることができません。

バージョンを確認し、異なるバージョンのファームウェアをアップする場合は②「修正」ボタン、更新する場合は③「更新」ボタンを押します。

アップデートが実行され、自動的に数回再起動します。数回の再起動後、「スケジュール再生」が開始されます。

※ファームアップ実行中は、キーボード・マウス操作を行わないでください。



操作編 ファームアップ (スタンドアロンモード)

スタンドアロン限定

■ 設定方法

※本操作にはファームアップデータが保存されているUSBメモリが必要です。

スタンドアロンモードの場合、USBメモリのroot直下に存在するファームアップファイルを以下のタイミングでSTB4L本体に自動コピーを行います。

- ・ 起動時
- ・ USBメモリ接続時

コピー後「ファームアップ」を押すと、ファームアップ画面が表示されます。

※更新するファームウェアファイルのバージョンが、現バージョンよりも新しくなければ、バージョンアップすることができません。

バージョンを確認し、更新する場合は「更新」ボタン①を押します。アップデートが実行され、自動的に数回再起動します。数回の再起動後、自動的に「スケジュール再生」が開始されます。



操作編 シャットダウン

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■「シャットダウン」とは

デザインSTB4Lの再起動またはシャットダウンを行います。

■キャンセル

①「キャンセル」ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

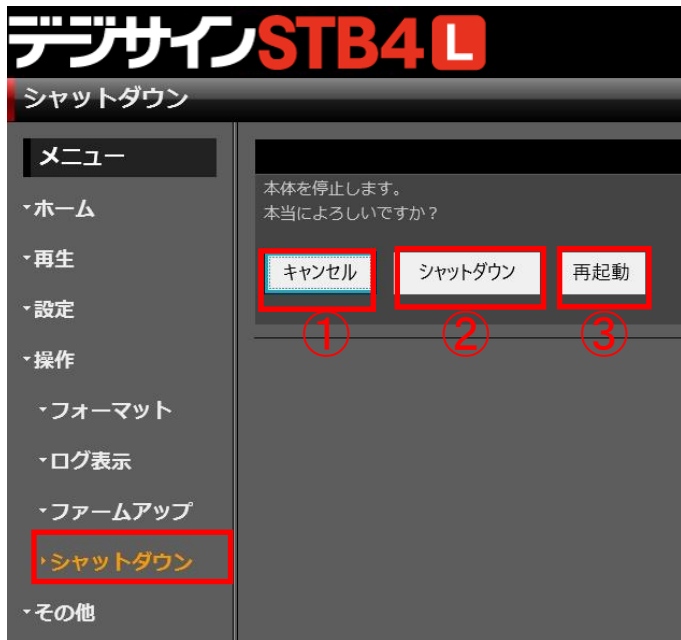
■シャットダウン

②「シャットダウン」ボタンを押すと、シャットダウンします。

再度電源を入れる場合は本体の電源ボタンを押してください。

■再起動

③「再起動」ボタンを押すと、再起動します。



操作編 WIndowsUpdate

SaaS/PKG、スタンドアロン共通

■「WindowsUpdate」とは

WindowsUpdateの手順説明、操作をします。

■セキュリティロックOFF

①「セキュリティロックOFF」を押すことで、端末のセキュリティ設定がOFF状態になり、WindowsUpdateをするための準備がされます。このボタンを押した後再起動されます。

■WindowsUpdate画面を開く

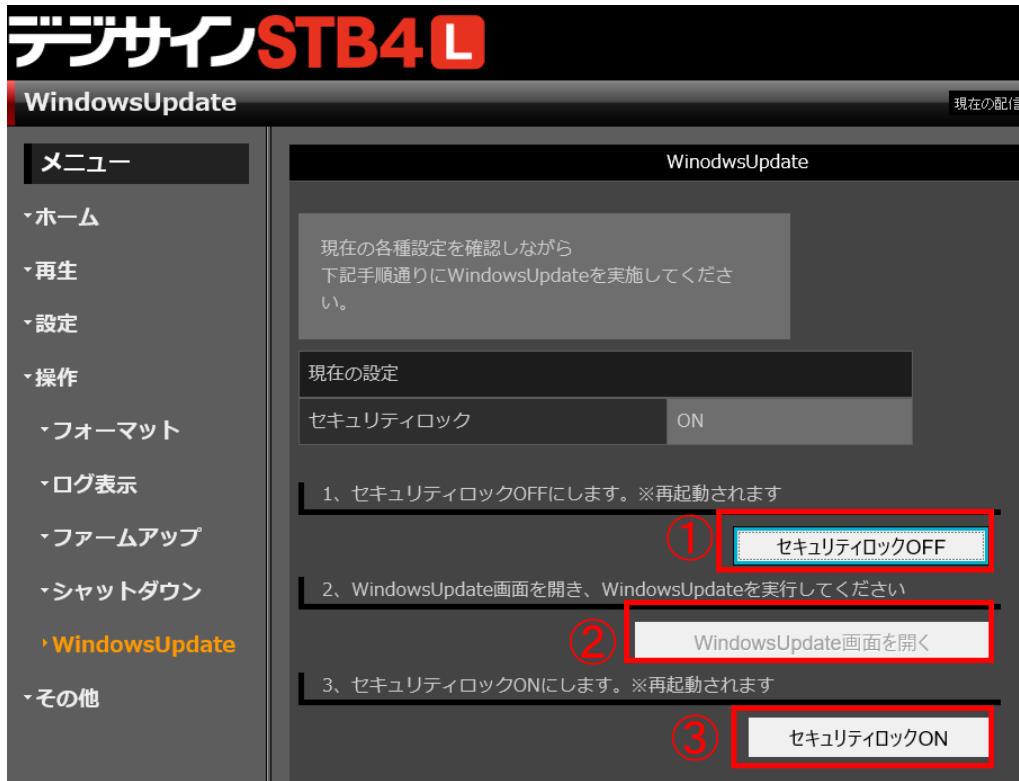
②WindowsUpdateの画面が開きますので、その画面からアップデートを行ってください。このボタンはセキュリティロックがOFFの時のみ押せます。

■セキュリティロックON

③「セキュリティロックON」を押すことで、端末のセキュリティ設定がON状態になります。WindowsUpdate後は必ずこの設定にしてください。

※注意

WindowsUpdateをした場合、本端末が正常に稼働しなくなる場合があります。



その他

■「使用許諾」とは

本製品のソフトウェアのライセンス契約について記載されています。
ご一読の上、本製品をご使用ください。

デザサインSTB4L

使用許諾 最終閲覧時刻 2017年07月01日 11時10分 現在の配信ステータス 待機中

メニュー

- ホーム
- 再生
- 設定
- 操作
- その他
 - 使用許諾**

本製品のソフトウェアについて

[WINDOWS 10 IOT ENTERPRISE]
 マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項
 お客様の居住地（またはお客様の会社の主たる業務地）が米国である場合、第9条に記載されている拘束力のある仲裁と集団訴訟の権利放棄について内容を注意深くお読みください。第9条は、紛争を解決する方法に影響を及ぼします。マイクロソフトをお選びいただきありがとうございます。

お客様が本 Windows ソフトウェアを取得された方法に応じて、本文は、(i) お客様のデバイスと共に本ソフトウェアを頒布するデバイス製造業者またはソフトウェア インストール業者とお客様の間で、または (ii) お客様が本ソフトウェアを小売業者から取得された場合は、お客様と Microsoft Corporation（またはお客様の所在地もしくは会社の場合は主たる業務地に応じたその関連会社。以下、「マイクロソフト」といいます）の間で、締結されるライセンス契約書です。マイクロソフトは、マイクロソフトまたはそのいずれかの関連会社が生産したデバイスのデバイス製造業者であり、お客様が本ソフトウェアをマイクロソフトから直接取得された場合は小売業者となります。本ライセンス条項には、本 Windows ソフトウェアを使用するお客様の権利および条件を規定しています。すべての条項が重要であり、一体となってお客様に適用される本ライセンス条項を形成するため、本ソフトウェアに付属する、印刷されたライセンス条項およびリンク先の条項を含む本ライセンス条項全文を確認してください。お客様は、ブラウザ ウィンドウに (aka.ms/) リンクを貼り付けることで、リンク先の条項を確認できます。

お客様は、本ライセンス条項に同意するか、または本ソフトウェアを使用することにより、これらすべての条項に同意し、ライセンス認証およびお客様が本ソフトウェアを使用する際に第3条に記載されているプライバシーに関する声明に従って特定の情報が送信されることに同意するものとします。お客様がこれらの条項に同意せず、またこれらの条項を遵守しない場合、本ソフトウェアまたはその機能を使用することはできません。この場合、デバイス製造業者もしくはインストール業者、または本ソフトウェアを直接購入された場合はご利用の小売業者に、問い合わせ、返品方針を確認してください。この方針に基づいて本ソフトウェアまたはデバイスを返品し、お支払いいただいた金額の払い戻しを受けられる場合があります。お客様は、この方針に従わなければなりません。この方針により、お客様は、払い戻しを受けるために本ソフトウェアと共に、本ソフトウェアがインストールされているデバイス全体を返品することが求められる場合があります。

1. 概要

a. 適用対象。本ライセンス条項は、お客様のデバイスにプレインストールされている、または小売業者から取得してお客様がインストールした本 Windows ソフトウェア、お客様が本ソフトウェアを受領したときのメディア（存在する場合）、本ソフトウェアに含まれるフォント、アイコン、画像、または音声ファイル、および本ソフトウェアに対するマイクロソフトの更新プログラム、アップグレード、追加ソフトウェア、またはサービスに適用されます。ただし、これらにその他の条項が付属している場合は、その限りではありません。マイクロソフトが開発し、Windows に含まれてその一部となっている機能（メール、カレンダー、連絡先、ニュースなど）を提供する Windows アプリケーションにも適用されます。本ライセンス条項にお客様のデバイスで利用できない機能またはサービスに関する条項が含まれている場合、当該条項は適用されません。

b. 追加条項。お客様のデバイスの機能、構成内容、および使用方法に応じて、お客様による特定の機能、サービス、およびアプリケーションの使用にマイクロソフトおよび第三者の追加条項が適用される場合があります。

(i) 一部の Windows アプリケーションは、オンライン サービスへのアクセス ポイントを提供するが、オンライン サービスに依存しています。そのため、これらのサービスの利用には、(aka.ms/msa) に掲載されている Microsoft サービス規約などの別途の条項およびプライバシー ポリシーが適用される場合があります。お客様は、これらの条項およびポリシーを、サービス使用条件またはアプリケーションの設定（該当する場合）を参照することで確認できます。注意してお読みください。これらのサービスを利用できない地域がある場合があります。

(ii) 製造業者またはインストール業者は、アプリケーションをプレインストールすることもできます。かかるアプリケーションには、別途のライセンス条項が適用されます。

(iii) 本ソフトウェアには、Adobe Flash Player などの、第三者独自の条項に基づいて使用許諾される第三者のソフトウェアが含まれていることがあります。お客様は、お客様による Adobe Flash Player の使用には、(aka.ms/adobe/flash) で確認できる、Adobe Systems Incorporated のライセンス条項が適用されることに同意します。Adobe および Flash は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

(iv) 本ソフトウェアには、本ライセンス条項に基づいて、第三者からではなく、マイクロソフトからお客様にライセンスされる第三者のプログラムが含まれていることがあります。第三者のプログラムの注意事項がある場合は、お客様への参考情報としてのみ含まれます。

Copyright(C) 2017 Cyberstation, Inc. All Rights Reserved.

その他 トラブルシューティング (1)

■こんなときは

現象	原因	解決方法
スケジュールがありません	<ul style="list-style-type: none"> 一度も同期していない 最後に同期してから4日以上経過しSTB4L本体にダウンロードされていたコンテンツデータが消えた 	<p>P28【設定診断】を実行し、問題がどこにあるのか確認します。</p> <p>①デジサインサーバとの通信に失敗した場合 ネットワーク接続ができていない可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク環境（LANケーブルの接続、ハブ、ルータ等） P27【ネットワーク設定】の設定内容を確認してください。 <p>②設定診断で問題が無かった場合 デジサインサーバと同期する設定になっていない、または同期が完了していない可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> P5「現在の配信ステータス」 P38【同期設定】の設定内容を確認してください。
番組がありません	デジサイン管理システムの「スケジュール管理」で番組が登録されていない	<p>「デジサイン管理システム」で、再生する番組の設定を行って下さい。</p> <p>※番組の設定方法は、「デジサイン管理システムマニュアル」をご覧ください。</p>
『デジサイン』ロゴ表示のまま再生が開始されない	本機の動作に異常が発生している可能性があります	P.62【シャットダウン】を参照し、本体の再起動を行ってください。

その他 トラブルシューティング (2)

■こんなときは

現象	原因	解決方法
ディスプレイに何も映らない。 「信号がありません」を表示 (ディスプレイ装置のメッセージ)	電源がオフになっている	P.3【基本操作編 起動と終了】の「STB4L」の起動方法を参照し、本体を起動してください。
		ACアダプタの接続を確認してください。
再生されない 「信号がありません」を表示 (ディスプレイ装置のメッセージ)	映像ケーブルが抜けている	HDMIケーブルの接続を確認してください。
	入力モードが映像ケーブルを接続しているモードと異なる	映像ケーブルを接続している入力モードに切り替えてください。
再生されるが音が聞こえない	ディスプレイに音声出力機能が搭載されていない	音声出力対応ディスプレイを用意してください。
	ディスプレイ音量状態が「ミュート」になっている	ディスプレイの音量を適切なボリュームに上げてください。

その他 トラブルシューティング (3)

■こんなときは

現象	原因	解決方法
表示異常（動画・静止画が粗い）	ディスプレイ解像度に対し動画・静止画サイズが小さい	管理画面より適切なサイズの動画を素材登録してください。
表示異常（ディスプレイ右端または下端に黒い帯が表示される）	適切なディスプレイ解像度を選択していない	P.30【画面設定】を参照し、適切な画面設定を行ってください。
表示異常（画面がつぶれる・伸びる）	適切なディスプレイ解像度を選択していない	P.30【画面設定】を参照し、適切な画面設定を行ってください。
表示異常（番組が画面に対して小さい・はみ出る）	本体起動時、ディスプレイが接続されていない、または電源が入っていない	P.62【シャットダウン】を参照し、本体の再起動を行ってください。

その他 トラブルシューティング (4)

■こんなときは

現象	原因	解決方法
表示異常（画面が真っ黒になる）	利用中のディスプレイに対応していない解像度を選択した	「Ctrl」 + 「Alt」 + 「R」 を押して適切な解像度に変更してください。
動画が止まる、画像が乱れる、音声途切れる	素材に適切でない動画フォーマットを使用している（エンコード内容が不適切）	『デザイン管理システムマニュアル』【素材管理 3. 推奨エンコードについて】を確認してください。
再起動を繰り返す	ネットワークが途切れる、または安定しない	LANケーブルの接続を確認してください
	本体の使用環境が適切でない	再起動を繰り返す際、本体が異常に高温となっている場合は即座に使用を中止してください。

その他 OSのプロキシ設定手順(1)

SaaS/PKG限定

■ OSのプロキシ設定とは

スケジュール再生でプロキシサーバを経由してURL素材・HTML素材を表示する際に必要な設定です。(本手順は、31ページのデジサインサーバと通信を行うプロキシ設定とは異なります)

■ 設定手順

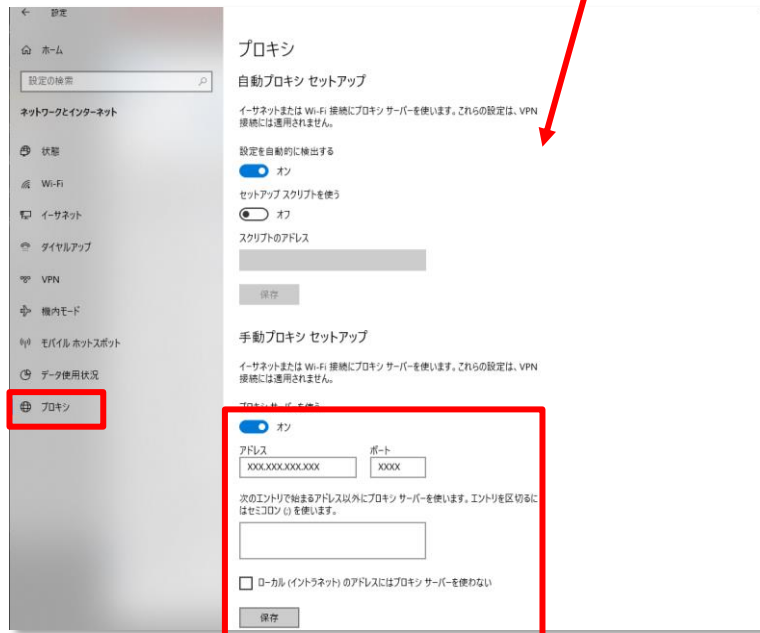
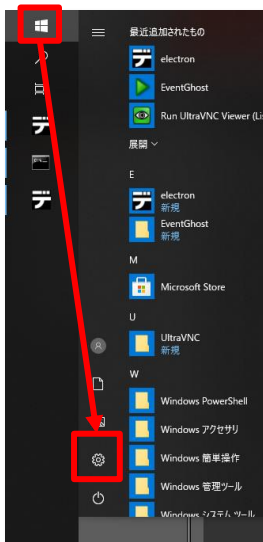
はじめに、本設定にはUSBキーボード・マウスが必要です。予めご用意ください。

①メニューの「設定」→「サービス設定」→「ディスク保護」→「無効」→「すべての設定を適用し再起動」

②再起動後、Windowsボタンを押下し、歯車の「設定」アプリを選択します

③「ネットワークとインターネット」→「プロキシ」→「プロキシサーバを使う」のチェックをONにします

④「アドレス」と「ポート」に必要な情報を入力し「保存」ボタンを押下します



その他 OSのプロキシ設定手順(2)

SaaS/PKG限定

⑤設定アプリを閉じ、デジサインのメニュー画面を表示します

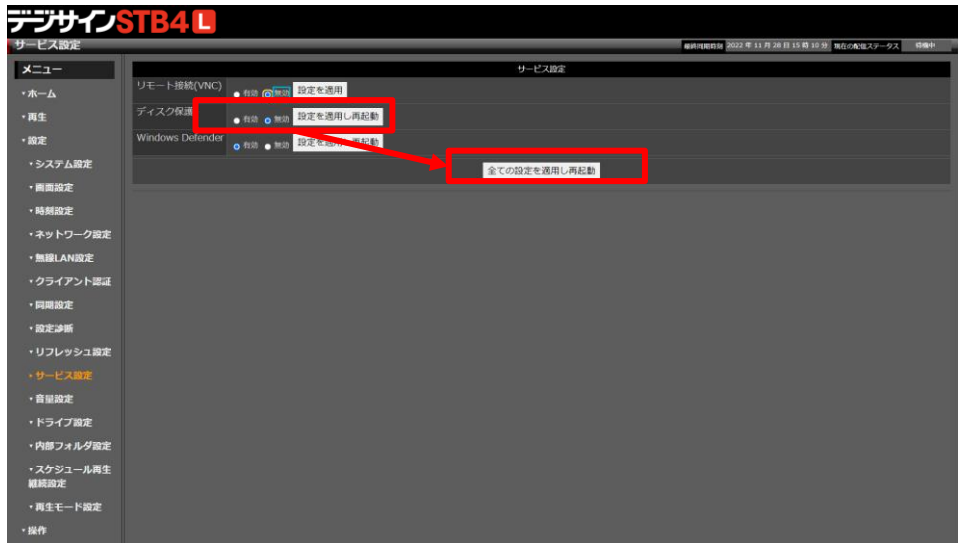
⑥メニューの「設定」→「サービス設定」→「ディスク保護」→「有効」→「すべての設定を適用し再起動」

⑦再起動後、スケジュール再生はプロキシサーバを経由してURL素材・HTML素材を表示します

⑧パスワード付きのプロキシサーバを利用する場合は、コンテンツ再生時にログイン用のダイアログが表示されます。

必要な情報を入力してログインを行ってください

(ログイン情報は、STBの電源がOFFになる、または再起動されるまで保持されます)



Proxy Login

XXX.XXX.XXX.XXX:XXXX

USERNAME

PASSWORD

ログイン

キャンセル

その他 ファームウェアアップデート

SaaS/PKG限定

■「ファームウェアアップデート」とは

デザサインサーバに最新のファームウェアがアップロードされたときに表示されます。

■操作方法

スケジュール再生時、または電源を入れた時に、最新ファームウェアがあった場合※1、ファームウェアアップデート選択画面が表示されます。

今すぐファームウェアをアップデートする場合は、

①「アップデートする」ボタンを押します。

後日アップデートする場合は、

②「アップデートしない」ボタンを押します。

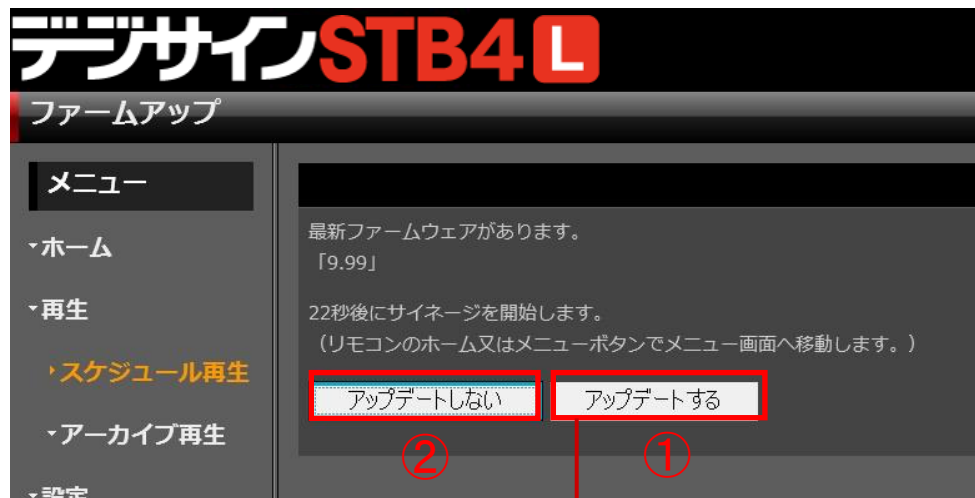
「スケジュール再生」が開始されコンテンツが表示されます。

※1：本操作は、デザサイン管理システム「環境設定管理」の「ファームウェアアップデート設定」で「手動アップデート」を選択している場合に表示されます。

「自動アップデート」が選択されている場合は、右図のような画面は表示されず、自動的にアップデートが行われますので、お客様側でアップデートのための操作をしていただく必要はございません。

「アップデートしない」が選択されている場合は、図のような画面は表示されず、アップデートも行われません。

既にファームウェアが最新の場合はファームウェアアップデート画面は表示されずに「スケジュール再生」が開始されます。



※ファームウェアアップデート実行中は、キーボード・マウス操作を行わないでください。

その他 リモコン操作(1)



デジサインで利用するリモコン操作

リモコンを裏返すと、キーボードとして使用できます。

No	ボタン	メニュー	スケジュール再生	アーカイブ再生
1	電源	長押しすると電源が切れます		
2	早戻し	-	-	前のコンテンツへ切り替える
3	早送り	-	-	次のコンテンツへ切り替える
4	前	-	-	動画を10秒戻す
5	次	-	-	動画を10秒進ませる
6	再生	-	-	コンテンツを再生する
7	コンテキストメニュー	-	-	操作バー表示
8	ホーム	メニュー画面を表示する		
9	上下矢印	項目を移動する	-	項目を移動する
	左右矢印	設定値を変更する	-	-
	OK	メニュー選択を決定する 画面上のボタンを押す	-	チェックを入れる 画面上のボタンを押す
10	VOL+ / VOL-	音量を調節する		
11	ミュート	ミュートを切り替える		
12	マウスモード切り替え	マウスモードを切り替える	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ・マウスモードをオンにしたときの動作 OKボタンを押すと、左クリックが出来ます。 リモコンを上下左右に振るとマウスカーソルの操作が出来ます。 </div>	
13	PG+ / PG-	設定値を変更する	-	画面スクロール 設定値を変更する
14	[1]～[9],[0]	数字入力	-	数字入力
15	[!]	[.]ドット入力	-	[.]ドット入力
16	DEL	1文字消す	-	1文字消す
17	緑	アーカイブ再生リスト画面を表示する		
18	黄	バージョンチェックを行ない、スケジュール再生を開始する (詳細は ファームウェアアップデート (73ページ) 参照)		
19	青	スケジュール再生を開始する	次のコンテンツに切り替える	スケジュール再生を開始する

その他 リモコン操作(2)

■ 学習リモコンとしての利用方法

STB4L付属のリモコン（以下STB4Lリモコンと表記）には学習機能があります。以下の手順で ディスプレイ付属のリモコン（以下ディスプレイリモコンと表記）と同じ操作ができるように登録できます。

- 1.STB4Lリモコンとディスプレイリモコンを向い合わせに置きます。
- 2.①「TV」ボタンを押します。
STB4Lリモコンが無線モードから赤外線モードに変わり、②の赤色LEDが点灯します。
- 3.①「TV」ボタンを押し続け、学習モードに切り替えます。
学習モードに切り替わると、②の赤色LEDが点滅します。
- 4.「TV」ボタンから指を離すと、登録待ち状態となります。
②の赤色LEDがゆっくり点滅します。
- 5.操作を覚えさせたいディスプレイリモコンのボタンを押します。
②の赤色LEDが早く点滅します。
- 6.操作を登録するSTB4Lリモコンのボタンを押します。
操作がリモコンに登録され、登録待ち状態に戻り②の赤色LEDがゆっくり点滅します。
- 7.操作を登録するボタンの数だけ 「5.」「6.」を繰り返します。
- 8.登録が完了したら、①「TV」ボタンを押します。
②の赤色LEDが点灯し、赤外線モードに戻ります。
赤外線モードの間、「5」「6」で登録したボタンを押すと、ディスプレイリモコンと同じ操作ができます。
- 9.再度①「TV」ボタンを押すと無線モードに戻り、②の赤色LEDが消灯します。
(STB4Lリモコンに戻ります。)

※電池を抜くとリモコンに登録した操作が全てリセットされ、ディスプレイリモコンと同じ操作ができなくなります。電池を交換した場合は、上記手順で再登録が必要となります。

※一部、学習リモコン機能非対応のディスプレイがあります。



その他 MINIリモコン操作(1) ※デジサインSTB4Lver2.10以降で利用可能




No	ボタン	メニュー	スケジュール再生	アーカイブ再生
①	電源	押すと電源が切れます		
②	コンテキストメニュー	-	-	操作バー表示
③	上下矢印	項目を移動する	-	項目を移動する
	左右矢印	設定値を変更する	-	-
	OK	メニュー選択を決定する 画面上のボタンを押す	-	チェックを入れる 画面上のボタンを押す
④	エスケープ	ショートカットメニューを表示する		
⑤	マウスモード切り替え	マウスモードを切り替える	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> ・マウスモードをオンにしたときの動作 OKボタンを押すと、左クリックが出来ます。 リモコンを上下左右に振るとマウスカーソルの操作が出来ます。 </div>	
⑥	ホーム	メニュー画面を表示する		
⑦	VOL+	音量を上げる		
⑧	VOL-	音量を下げる		



USB Dongle※ リモコン本体※

※同梱されているリモコンとUSB Dongleの組み合わせでのみご利用可能です。

その他 MINIリモコン操作(2) ※デジサインSTB4Lver2.10以降で利用可能

リモコンの「」ボタンを押すことで、画面下部に「アーカイブ再生」「バージョンチェック」「スケジュール再生」「スキップ」機能へのショートカットボタンが表示されます。

スケジュール再生



アーカイブ再生



設定画面



アーカイブ再生

- ・・・アーカイブ再生画面に遷移します

バージョンチェック

- ・・・バージョンチェックを実施します。
- ・・・最新バージョンがない場合、スケジュール再生画面に遷移します

スキップ

- ・・・次のコンテンツにスキップします。
(スケジュール再生画面のみ)

スケジュール再生

- ・・・スケジュール再生に遷移します
(スケジュール再生画面以外の画面を開いている場合のみ)

その他 MINIリモコン操作(3) ※デジサインSTB4Lver2.10以降で利用可能

■テキストの入力方法について



付属のリモコン（以下リモコンと表記）にはテキストを入力するには、ソフトウェアキーボードを利用します。

以下の手順でソフトウェアキーボードを表示できます。

1. 「マウスモード切り替え」ボタンを押して、マウスモードをONにします。
2. 「上下矢印」「左右矢印」ボタンを押して、テキストボックスにマウスカーソルを合わせます。
3. 「OK」ボタンを押すと、ソフトウェアキーボードが表示されます。
4. 「上下矢印」「左右矢印」ボタンを押して、入力するキーにマウスカーソルを合わせて「OK」ボタンを押すと、テキスト入力できます。

ソフトウェアキーボードを閉じる場合は①「x」ボタンにマウスカーソルを合わせて「OK」ボタンを押します。

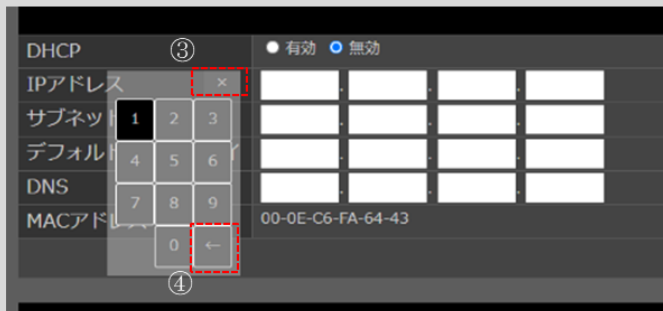
ソフトウェアキーボードを移動する場合は②「上に表示」「下に表示」ボタンのどちらかにマウスカーソルを合わせて「OK」ボタンを押します。

「ネットワーク設定」画面の場合、IPアドレスを入力しやすいようにテンキーを表示します。

テンキーの表示方法はソフトウェアキーボードと同じ手順になります。

テンキーを閉じるには③「x」ボタンを押します。

数字を1文字削除するには④「バックスペース」ボタンを押します。



その他 本マニュアルで解決できない場合

「STB4L」の操作について、本マニュアルで解決できない場合は、以下窓口までご連絡いただけますようお願いいたします。

お問い合わせ窓口

サイバーステーション株式会社 デジサインサポートセンター

フリーコール：0800-123-4136

受付時間：月～金曜日（9:00～12:00、13:00～18:00

土、日、祝日、その他弊社休日を除く）

FAX：0800-123-4139

住所：〒920-0024 石川県金沢市西念1丁目2番26号

上級者向け設定マニュアル

本マニュアルは「デジサインSTB4L」にて、以下の機能を有効にする手順を記載させていただいております。

- HDMI-CEC (※1)
- Wake on RTC (※1)
- Wake on LAN (※1)
- クライアント証明書を利用した無線LANの設定方法 (※2)

- ※1. 機能を有効にする際、本製品のBIOS設定およびデバイスの設定を行います。
本マニュアルの手順にない操作をした場合、本製品が正常に稼働しなくなる場合があります。
- ※2. 対応している認証方式は下記の通りです。
- EAP-TLS

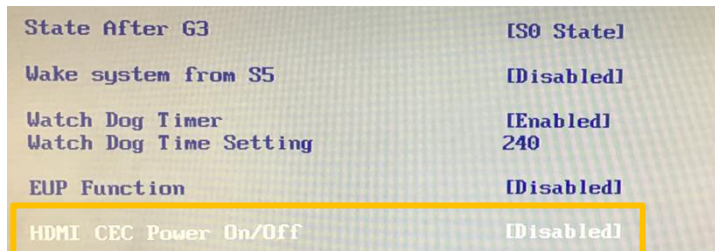
上級者向け設定マニュアル HDMI-CEC

本設定を行う場合、「デジサインSTB4L」にUSBキーボードを接続してください

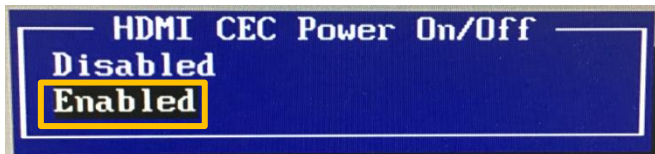
1. 本製品を起動し、すぐにキーボードの [F2] を連打する⇒ BIOS画面が表示されます。
※Windowsのスタート画面が表示された場合は、シャットダウンし、再度手順1から実行してください。
2. [→] を押して [Configuration] タブに移動する



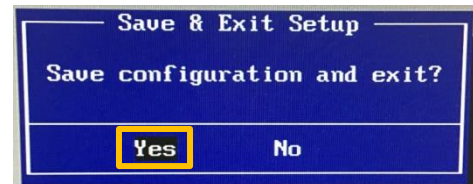
3. [HDMI CEC Power On/Off] を選び、[Enter] を押します。



4. [Enabled] を選び、[Enter] を押します。



5. ① [→] を押して [Save & Exit] タブに移動する
② [Save Changes and Exit] を選んで [Enter] を押します。



以上でHDMI-CECが有効になります。

上級者向け設定マニュアル Wake on RTC

本設定を行う場合、「デジサインSTB4L」にUSBキーボードを接続してください

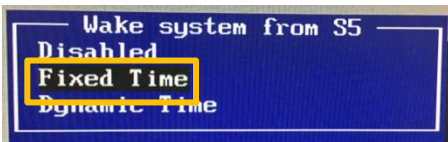
1. 本製品を起動し、すぐにキーボードの [F2] を連打する⇒ BIOS画面が表示されます。
※Windowsのスタート画面が表示された場合は、シャットダウンし、再度手順1から実行してください。
2. [→] を押して [Configuration] タブに移動する



3. [Wake system from S5] を選び、[Enter] を押します。



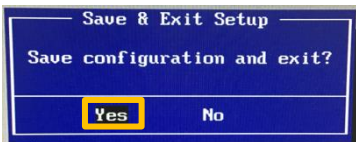
4. [Fixed Time] を選び、[Enter] を押します。



5. 起動したい時間を24時間方式で入力する



6. ① [→] を押して [Save & Exit] タブに移動する
② [Save Changes and Exit] を選んで [Enter] を押します。



以上で指定時刻に自動で起動するようになります。

上級者向け設定マニュアル Wake on LAN①(BIOSの設定)

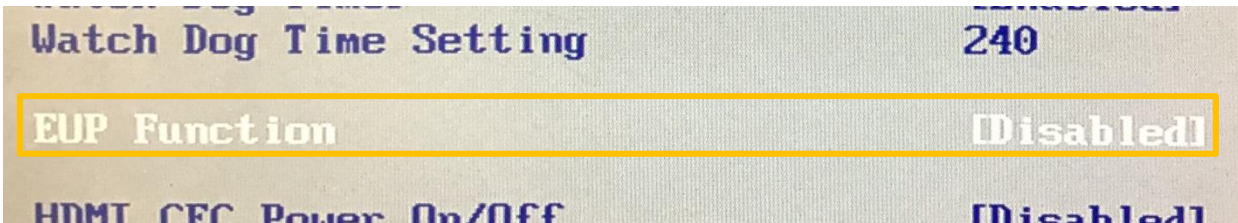
本設定を行う場合、「デジサインSTB4L」にUSBキーボード、マウスを接続してください

1. 本製品を起動し、すぐにキーボードの[F2]を連打する⇒BIOS画面が表示されます。
※Windowsのスタート画面が表示された場合は、シャットダウンし、再度手順1から実行してください。

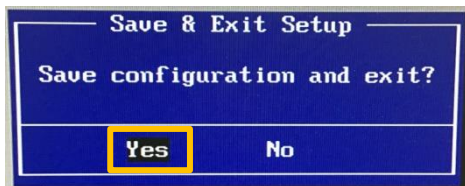
2. [→]を押して[Configuration]タブに移動する



3. [EUP Function]が[Disabled]になっていることを確認する
※ [Enable]になっている場合は、[Disabled]に設定してください。



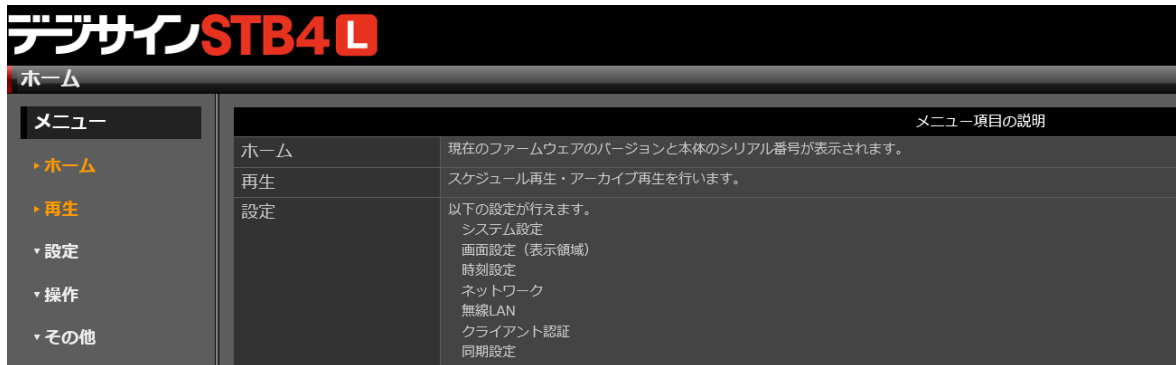
4. ① [→]を押して[Save & Exit]タブに移動する
② [Save Changes and Exit]を選んで[Enter]を押します。



次ページへ

上級者向け設定マニュアル Wake on LAN②(デジサインの設定)

5. デジサインが起動された後、リモコンのホームボタンを押します。⇒ ホーム画面が表示されます。



6. リモコンの[↓]を押して [設定] に移動し、[OK]ボタンを押します。

7. [サービス設定] に移動し[OK]ボタンを押します。⇒ サービス設定画面が表示されます。



8. [ディスク保護]を無効に変更し、[設定を適用し再起動]を押します。

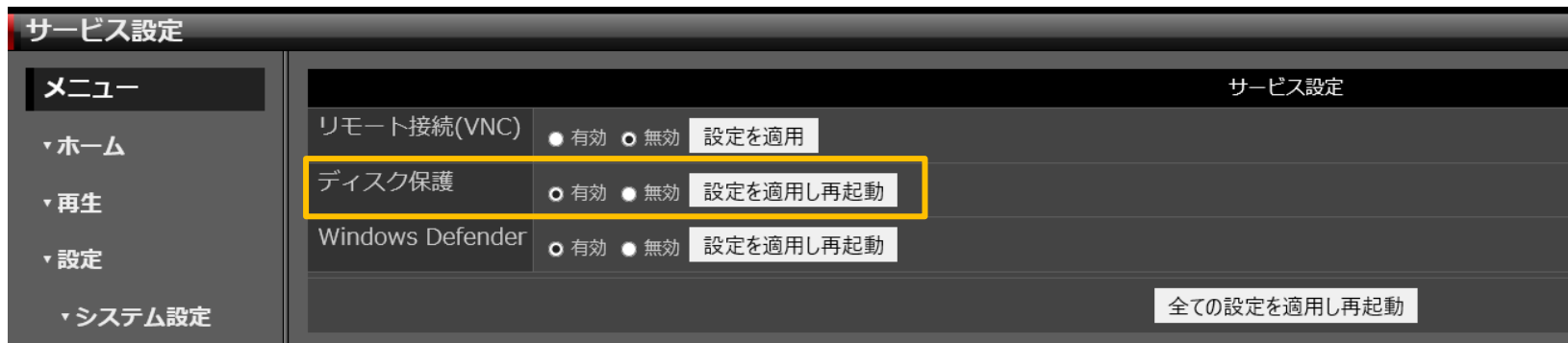


上級者向け設定マニュアル Wake on LAN③(デバイスの設定)

9. 再起動後、以下の操作を行ってください。

- ① デバイスマネージャーを開く
- ② [ネットワークアダプター] の [Intel I210 Gigabit Network Connection] をダブルクリック
- ③ [詳細設定] タブの [PMEをオンにする] の値を [有効] にする
※ シャットダウンからのWake on LANが有効になります。
- ④ [電源の管理] タブを開き、[このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする] にチェックする
- ⑤ [Magic Packetでのみ、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする] にチェックする
※ スリープからのWake on LANが有効になります。
- ⑥ [OK] をクリック

10. 上記操作後、再度サービス設定画面を開き、[ディスク保護]を有効に変更し、[設定を適用し再起動]を押します。

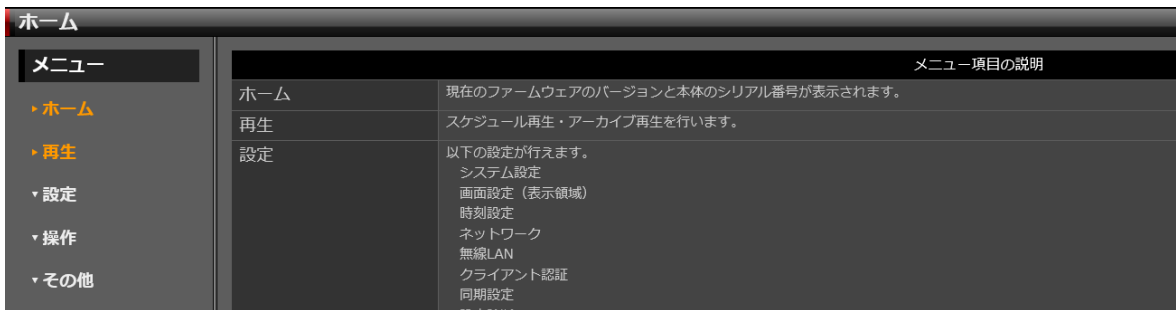


以上でWake on LANが有効になります。

上級者向け設定マニュアル クライアント証明書を利用した無線LANの設定方法①

本設定を行う場合、USBキーボード、マウスを接続してください。

1. デジサインが起動した状態で、リモコンのホームボタンを押し、ホーム画面を表示します。



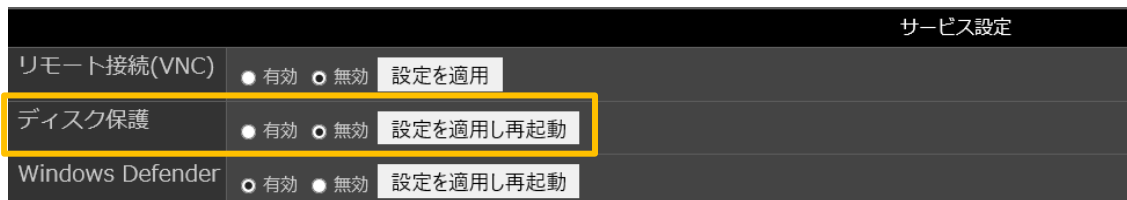
2. メニューから[設定> サービス設定]に移動します。
※既にディスク保護が無効の場合、手順6から進めてください。



次ページへ

上級者向け設定マニュアル クライアント証明書を利用した無線LANの設定方法②

4. [ディスク保護]を[無効]に変更し、[設定を適用し再起動]を押します。
※既に無効の方は手順6番から進めてください。



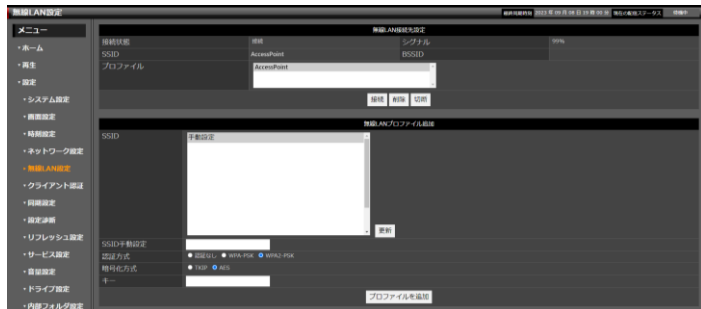
5. デザサインが起動した後、リモコンのホームボタンを押し、ホーム画面を表示します。
6. Windowsの無線アクセスポイントの登録を利用し、無線アクセスポイントへ接続します。
・**タスクバーの表示方法**

タスクバーを表示するためには[Windowsキー]を利用します。

[Windowsキー]がない場合は、[Ctrl+Alt+Del]から[タスクマネージャー]を起動し、マウスカーソルを左端、又は下端へ移動することでタスクバーが表示されます。

起動後に初めてWindowsのスタートメニューを表示する際は薄くシャドーが掛ったようになり、操作を受け付けませんので、スタートメニューを再表示してください。

7. デザサインの[メニュー>設定]より[無線LAN設定]を表示します。



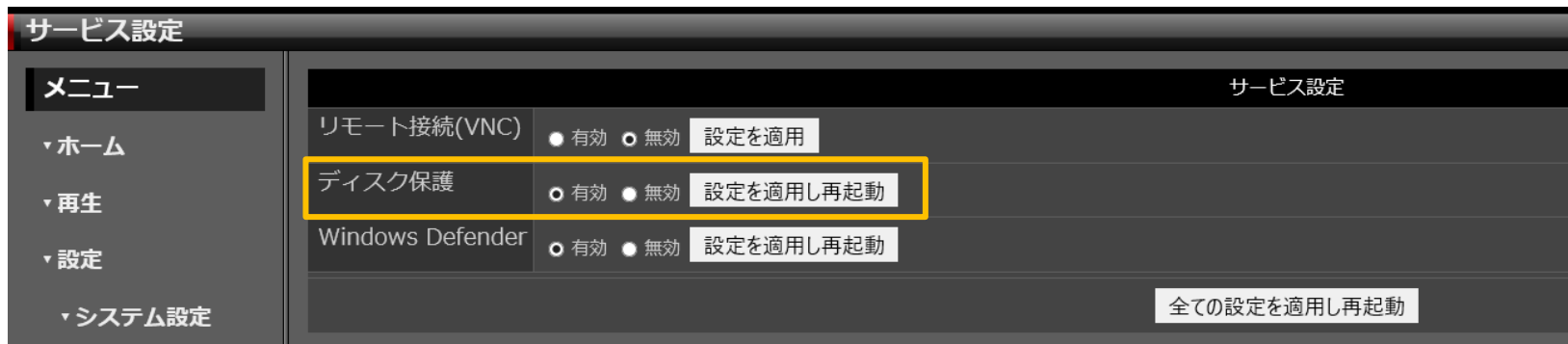
次ページへ

上級者向け設定マニュアル クライアント証明書を利用した無線LANの設定方法③

8. 無線LAN接続先設定のプロファイルからクライアント証明書を利用した無線アクセスポイントをクリックで選択し、[接続]ボタンを押します。再接続できれば完了です。



9. メニューから「設定>サービス設定」を選択し、[ディスク保護]を[有効]に戻します。
※[ディスク保護]の「有効 or 無効」の設定は任意で設定ください。



10. STBを再起動し、無線アクセスポイントへ接続できることを確認します。接続できていれば作業完了です。
※「接続できない」又は「アクセスポイントへの設定がない」場合は再度最初からやり直してください。

以上でクライアント証明書を利用した無線LANの設定は完了となります。

資料に関する配布制限と取り扱いについて

この資料は、サイバーステーション株式会社【英語表記：Cyberstation, Inc.】（以下、当社という）が、当社の製品「STB4L（以下、商品という）」に関わるソフトウェアの操作説明、機能、アップグレード方法、ファームウェア等の情報を記したものです。

この資料の配布については、ご利用者（商品のお申し込みをいただいたユーザ）、または、当社の販売パートナー・保守パートナー（当社とパートナー契約または売買契約書を締結した企業）と、当社社員に限定させていただきます。また、配布資料の取扱には十分ご注意をいただき、再配布は禁止します。

また、再配布については、当社が許可した場合のみ可能とし、当社と相対する競合企業や競合製品を持つまた、取扱する企業（以下、コンペジターという）には配布すること、情報を開示することを禁止します。

尚、この資料の内容については、1 ページ目に記載されている日付の段階での情報となり、この情報に記載されていることを永久に保証、また、ユーザの商品をご利用いただいたの業務改善や売上等を保証するものではありません。

各パートナー様においては、この資料を営業ツールとして使用する事は禁止します。

コンペジターへの情報開示も禁止します。

この資料を参考にパートナー自身や関連企業、子会社によるコンペジターとなりえる製品を開発することは禁止します。

サイバーステーション株式会社